

令和5年度

川口市の青少年対策

川口市青少年保護育成本部

は じ め に

次代を担う青少年が心身ともに健やかに成長していくことは、すべての市民の願いであり、活力ある社会を築いていくうえで大変重要な課題であります。

青少年を取り巻く社会環境は、民法の改正による成人年齢の引き下げをはじめ、ライフスタイルの多様化、少子化の進展、情報通信技術の発達など、目まぐるしい変化を遂げています。また、青少年を巻き込んだ凶悪犯罪や児童虐待なども後を絶たず、その背景についても極めて複雑化しており、多様な視点から問題の解決を図っていくことが求められています。

青少年が大きな志を抱き、夢と希望を持つことができる社会を築くため、こうした状況を的確に把握し諸問題に取り組むとともに、「青少年の健全育成」という一つの目標に向かって共通の認識を持ち、青少年対策を総合的かつ計画的に推進する必要があります。

本書は、川口市における青少年関係事業の概要を取りまとめたものです。広く関係者の皆様に御覧いただき、これら事業の推進について一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年8月

川口市青少年保護育成本部
本部長 奥ノ木 信夫

目 次

1	青少年対策の施策・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	川口市青少年健全育成の組織・・・・・・・・	2
3	青少年関係事業一覧 ～地域の教育力・健全育成活動の充実～ ・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	① 各種体験事業・・・・・・・・	5
	② 団体の活動促進・・・・・・・・	103
	③ 啓発活動・・・・・・・・	109
	④ 体制づくり・・・・・・・・	135
	⑤ その他・・・・・・・・	155
4	川口市青少年団体連絡協議会加盟団体一覧・・・・・・・・	167
5	各種法令による子供・若者の年齢区分・・・・・・・・	169
6	少年非行の現状・・・・・・・・	170

1 青少年対策の施策

第5次川口市総合計画

～人としごとが輝く しなやかでたくましい都市 川口～

めざす姿Ⅱ 子どもから大人まで“個々が輝くまち”

施策2 子どもの成長をサポートする基盤づくり

基本方針

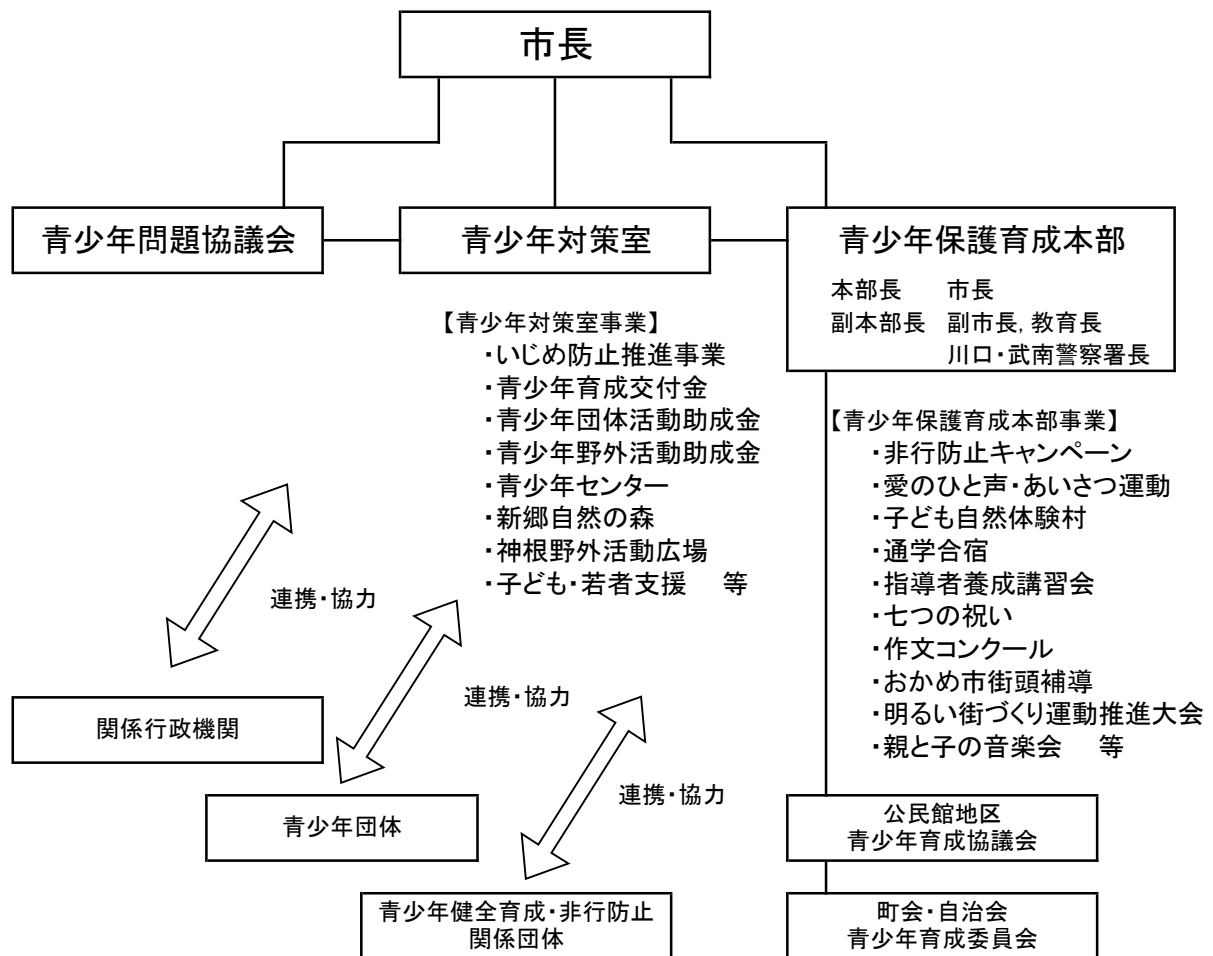
学校・家庭・地域と行政が相互に補完・連携しながら、さまざまな社会経験の場や見守りの機会を増やし、子どもの成長をサポートする基盤をより強固なものにしていく。

○単位施策と主な取り組み

地域の教育力・健全育成活動の充実

1. 子どもが生きる力を身につけ、将来、自立した社会生活が営めるよう、各種体験事業などを実施する。また、地域活動やボランティア活動、世代間交流などへの積極的な参加を促し、地域への愛着や連帯意識、他者を思いやる心などを育てる。
2. 子どもに体験活動の機会を提供する青少年団体の活動を促進し、指導者の養成や資質向上に努める。
3. 学校・家庭・地域などと連携し、子どもや若者を非行や犯罪から守り、健全な育成に望ましい環境づくりを推進する。また、市民意識の高揚を図るため、啓発活動などを継続的に展開する。
4. 困難を抱える子どもや若者を社会全体で支援する体制づくりを推進する。

2 川口市青少年健全育成の組織



3 青少年関係事業一覧

～ 地域の教育力・健全育成活動の充実 ～

事業について5つの取り組みに分類しています

①各種体験事業

スポーツ大会・料理教室・文化祭・ボランティア体験・子どもの居場所等、青少年が体験・参加する事業

②団体の活動促進

指導者養成会・指導者会議・救急救命講座等、青少年団体の活動を促進し、指導者の養成や資質向上に努める事業

③啓発活動

あいさつ運動・青少年健全育成研修会・キャンペーン等、市民意識の高揚を図るための啓発事業

④体制づくり

青少年育成協議会会議・総会等、青少年を支援する体制づくり

⑤その他

事業一覧の見方

担当	事業名	事業内容	対象者	令和元年度実績	効果	令和2年度予定
青少年対 策室	子ども自然体験村	野外活動を通して、自然の雄大さ、美しさ、厳しさなどに触れ、自然や環境への理解を深めるとともに、異なる年齢の人々との交流により、自主性、協調性、忍耐力、社会性、思いやりの心を育む。	市内在住または在学の小学5年生～中学生	実施日 7月21日～23日	豊かな自然の中での野外生活を通して、精神面や生活面での成長が育まれた。	実施日 8月16日～18日
				場 所 小平の里 (群馬県みどり市)		場 所 小平の里 (群馬県みどり市)
				参加者 40名		定 員 40名
				決算額 1,094千円		予算額 1,431千円
		子どもたちが親元から離れて共同生活する体験活動を実施し		実施日 ①9月25日～28日 ②10月16日～19日		実施日 ①7月1日～4日 ②9月30日～10月3日
				… ①雄略郡公民館		… ①館室公民館

見開き 1 ページで事業を掲載しています。

担当

事業の主催、企画、運営している課名

事業名

事業の名前

事業内容

事業の内容

対象者

事業における対象（ターゲット）

令和 4 年度実績

令和 4 年度の実施日、開催場所、参加者、決算額

効果

事業を実施した際の効果

令和 5 年度予定

令和 5 年度の実施日、開催場所、定員／目標、予算額

※新型コロナウイルス感染症の影響で中止・内容変更等があります。

詳細は所管課・施設にお問い合わせください。

①各種体験

担当	事業名	事業内容	対象者
青少年対策室	子ども自然体験村 (デイキャンプ)	野外活動を通して、自然の雄大さ、美しさ、厳しさなどに触れ、自然や環境への理解を深めるとともに、異なる年齢の人々との交流により、自主性、協調性、社会性、思いやりの心を育む。	市内在住または在学の小学5、6年生・中学生
青少年対策室	通学合宿	子どもたちが親元から離れて共同生活をしながら通学することにより、家庭の大切さを理解するとともに、年齢の異なる子ども同士のふれあいや大人とのコミュニケーションにより、「生きる力」を育む。	対象小学校在学及び対象公民館地区内在住の小学4～6年生
青少年対策室	七つの祝い	次年度に小学校へ入学する子どもの健やかな成長を祝福し、お祝いに粗品を贈呈し、園遊会を行う。	次年度新入学児童
青少年対策室	親と子の音楽会	親と子が音楽を通しふれあうことにより、共通した話題の中から信頼関係が醸成され、青少年の健全育成にとって望ましい家庭環境の促進を図る。	市民
青少年対策室	児童センター運営事業	地域児童に健全な遊びを教え、個別・集団的に指導し、子どもの健康を増進させ情操を豊かにするとともに、子ども会、母親クラブ等児童組織活動の育成助長を図る。	児童(18歳未満)及びその保護者

令和4年度実績		効果	令和5年度予定	
実施日	①7/23 ②7/24 ③8/20	豊かな自然の中での野外生活を通して、精神面や生活面での成長が育まれた。	実施日	7月23～25日
場 所	神根青少年野外活動広場		場 所	小平の里(群馬県みどり市)
参加者	①20名 ②22名 ③26名		定 員	40名
決算額	277千円		予算額	1,428千円
実施日	中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日	①9月20日～9月23日
場 所	—		場 所	①芝公民館
参加者	—		定 員	20名
決算額	0千円		予算額	942千円
実施日	10月10日	親子・家族での参加を促すことにより、親子の絆を深め、子どもの情緒を養い、健全な成長に望ましい家庭環境づくりの一助となった。	実施日	10月9日
場 所	グリーンセンター		場 所	グリーンセンター
参加者	737人		対 象	5,000名
決算額	1,974千円		予算額	2,345千円
実施日	2月26日	親子・家族での参加を促すことにより、親子の絆を深め、子どもの情緒を養い、健全な成長に望ましい家庭環境づくりの一助となった。	実施日	2月25日
場 所	川口総合文化センター リリア音楽ホール		場 所	川口総合文化センター リリア 音楽ホール
参加者	517名		定 員	600名
決算額	366千円		予算額	520千円
実施日	水～月、5月5日 (休日・年末年始を除く)	有資格者が遊びの指導を行うことにより、児童の健全育成を図ることができた。 また、乳幼児と保護者に交流の場を提供することで、子育て不安の解消となるなど子育て支援にもつながった。	実施日	水～月、5月5日 (休日・年末年始を除く)
場 所	①南平児童センター ②芝児童センター ③戸塚児童センター		場 所	①南平児童センター ②芝児童センター ③戸塚児童センター
参加者	63,714人		定 員	なし
決算額	84,393千円		予算額	99,056千円

担当	事業名	事業内容	対象者
青少年対策室	アドベンチャープレイ事業	遊びは子どもの成長に欠かせないものであるが、今日遊べない子が増え、子どもたちの心身の発達に影響を及ぼしていることから、子どもたちの中に豊かな遊びを復活させ児童の健全な育成を図る。 ①プレイリーダーハウス活動 ②新郷東部公園活動 ③夏まつり ④プレイリーダー養成講座 ⑤わんぱくまつり ⑥新春伝承あそびまつり ⑦プレイリーダー研修会	公園に遊びにきた子どもとその保護者
青少年対策室	鳩ヶ谷こども館事業	地域児童に健全な遊びを教え、個別・集団的に指導し、子どもの健康を増進させ情操を豊かにするとともに、地域のコミュニティの拠点として、子育て親子の健全な育成を図る。	児童(18歳未満)及びその保護者
総務課	昭和館見学会	昭和館を見学し、戦争の悲惨さと平和の尊さについて認識してもらうことを目的に実施する。	概ね小学4年生から6年生
協働推進課	こどもフリーさろん (青少年ボランティア育成事業)	手話、点字、車いす、国際(第1土曜日)、折り紙(第3土曜日)の体験を実施。	小学生

令和4年度実績		効果	令和5年度予定	
実施日	①火・水・木・土 ②毎月第2土曜日(8月・1～3月休止) ③8月27日 ④中止 ⑤10月22日 ⑥1月29日 ⑦中止	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント、新郷東部公園での活動に関しては変更や中止が生じたが、プレイリーダーによる子どもたちへの遊びの指導により、子どもたちの中に豊かな遊びを復活させ児童の健全な育成が図られた。	実施日	①火・水・木・土 ②毎月第2土曜日(9月～) ③8月5日 ④未定 ⑤11月上旬 ⑥1月下旬 ⑦未定
場 所	①前川第6公園、南平児童交通公園 ②新郷東部公園 ③前川第6公園 ④— ⑤南平児童交通公園 ⑥前川第6公園 ⑦—		場 所	①前川第6公園、南平児童交通公園 ②新郷東部公園 ③南平児童交通公園 ④～⑦未定
参加者	①37, 228人 ②510人 ③460人 ④— ⑤200人 ⑥270人 ⑦—		定 員	なし
決算額	8,972千円		予算額	15,708千円
実施日	水～月、5月5日 (休日・年末年始を除く)	有資格者が遊びの指導を行うことにより、児童の健全育成を図ることができた。また、乳幼児と保護者に交流の場を提供することで、子育て不安の解消となるなど子育て支援にもつながった。	実施日	水～月、5月5日 (休日・年末年始を除く)
場 所	鳩ヶ谷こども館 (鳩ヶ谷武道場1階)		場 所	鳩ヶ谷こども館 (鳩ヶ谷武道場1階)
参加者	11759人		定 員	なし
決算額	15,918千円		予算額	16,004千円
実施日	5月14日	参加した児童に平和の尊さを再認識してもらえた。	実施日	5月13日
場 所	昭和館		場 所	昭和館
参加者	37名		定員	45名
決算額	159千円		予算額	204千円
実施日	5月～3月(8月を除く) 第1・3土曜日	新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ実施し、年間を通して気軽にボランティア体験ができる環境づくりをした。	実施日	5月～3月(8月を除く) 第1・3土曜日
場 所	かわぐち市民パートナーステーション		場 所	かわぐち市民パートナーステーション
参加者	のべ372名		定 員	425名
決算額	0千円		予算額	0千円

担当	事業名	事業内容	対象者
協働推進課	夏休みこどもボランティアサロン (青少年ボランティア育成事業)	夏休み期間に1回毎にテーマを決めて、それぞれのボランティア団体の活動を体験。 折り鶴、ユニセフ活動、盲導犬体験、障がい者スポーツ体験、古切手の整理、手話のボランティア体験。	小学生
協働推進課	青少年ボランティアスクール (青少年ボランティア育成事業)	夏休み期間に市内福祉施設、社会教育施設、ボランティア団体でのボランティア体験を実施。	中学生から概ね25歳までの青少年
協働推進課	夏休みボランティア体験修了証授与式 (青少年ボランティア育成事業)	新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視し、夏休み期間のボランティア体験者のうち代表者に対し修了証を授与。 令和5年度はボランティア大会として体験参加者全員に対しフレンジアにて修了証を授与予定。	中学生から概ね25歳までの青少年
協働推進課	青少年ボランティア大会 (青少年ボランティア育成事業)	新型コロナウイルス感染症の感染状況に注視しつつ、夏休み期間のボランティア体験者に対し修了証の授与と体験発表等を予定。	中学生から概ね25歳までの青少年

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 7月26日～8月5日	新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ実施し、気軽にボランティア体験ができる環境づくりをした。	実施日 7月25日～8月2日
場 所 市内各所		場 所 市内各所
参加者 のべ125名		定 員 222名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 7月23日～8月10日	新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ実施し、気軽にボランティア体験ができる環境づくりをした。	実施日 7月22日～8月13日
場 所 市内各所		場 所 市内各所
参加者 のべ386名		定 員 約500名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 8月26日	代表者に修了証を授与したほか、夏休み期間のボランティア体験者の計511名に対し、体験記録資料および動画を配布。体験者を更なるボランティア活動へと促進した。	実施日 -
場 所 市長公室		場 所 -
参加者 4名		定 員 -
決算額 0千円		予算額 -
実施日 -	夏休み期間のボランティア体験者全員に修了証を授与することにより、更なるボランティア活動へと促進することを期待。	実施日 8月25日
場 所 -		場 所 フレンドシア
参加者 -		定 員 未定
決算額 -		予算額 0千円

担当	事業名	事業内容	対象者
協働推進課	通年ボランティア事業 (青少年ボランティア育成事業)	夏以降も継続してボランティア活動に関われるよう、総合的な支援をする。ユニセフ活動、ごみ拾い、農作業ボランティア、国際理解講座、古切手の整理を実施。	中学生から概ね25歳までの青少年
文化推進室	文化芸術体験事業	小学生から高校生を対象とした、茶道の教室を実施予定。	小・中・高校生
交通安全対策課	交通安全教室	児童等を対象として、校(園)庭に模擬道路を作り、「正しい歩行の仕方」と「安全な自転車の乗り方」の実技指導を行っている。また、生徒等を対象として、交通安全映画の上映や講話、要望に応じてダミー人形の衝突実験やスケアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室を実施している。	市内の保育所、幼稚園及び小・中・高等学校の幼児・児童・生徒
交通安全対策課	児童交通公園	芝・南平児童交通公園において、変わり種自転車やバッテリーカー(南平のみ)の貸し出しを行うとともに、児童等に交通ルールやマナーの指導を行う。	中学生までの子供

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 11月～3月 全15回	通年でボランティア体験ができる体制を整え、更なるボランティア活動を促した。	実施日 10月以降
場 所 市内各所		場 所 未定
参加者 のべ116名		定 員 未定
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 12月11日(日)	川口市の郷土文化である「初午太鼓」を通して、普段触れることの少ない文化芸術を体験することにより、伝統文化の良さや味わいを感じてもらうことができた。	実施日 未定
場 所 南平文化会館		場 所 未定
参加者 27名		定 員 40名
決算額 182千円		予算額 321千円
実施日 通年	参加者の交通安全意識の高揚が図られ、交通事故の抑止に繋がった。	実施日 通年
場 所 実施施設又は交通公園		場 所 実施施設又は交通公園
参加者 のべ 50,495人		参加者 のべ 50,495人
決算額 6,709千円		予算額 7,132千円
実施日 日曜日及び国民の祝日(夏休み期間中は金曜日も利用可能)	子どもたちが楽しみながら交通ルールやマナーを学べる場として、多くの市民が利用しており、交通安全意識の高揚が図られた。	実施日 日曜日及び国民の祝日(夏休み期間中は金曜日も利用可能)
場 所 芝・南平児童交通公園		場 所 芝・南平児童交通公園
参加者 のべ 30,294人		参加者 のべ 30,294人
決算額 4,218千円		予算額 4,380千円

担当	事業名	事業内容	対象者
環境総務課	地球温暖化防止ポスターコンクール	小・中学生を対象に、ポスター作品を通じ、地球温暖化問題に対する意識の向上を図るために実施する。入賞者については表彰式を実施し、入賞作品を市役所などに展示する。	市内の小学3～6年生及び中学生
環境総務課	Kids' ISO14000プログラム	国際規格「ISO14001」のPDCAサイクルをモデルに「子ども一人ひとりがリーダーとなり、日常生活において、家族とともに家庭を中心とした環境マネジメントシステムの運用を実施することで、地域社会に環境配慮型ライフスタイルへの転換を促す」ことを目的とした環境教育支援プログラムを小学5年生を対象に実施する。	市内小学校の5年生
環境総務課	エコ・スクールン	市内の学校における環境教育・環境学習の支援を図るため、環境に関する知識・活動経験のある個人、団体及び事業者のかたに環境学習の講師を務めていただき、持続的発展が可能な社会構築と市のネットワーク形成を目的とする。	市内の小学生、中学生、高校生
自然保護対策課	川口いきもの探検隊	子どもたちが環境問題に興味を持ち、自主的に環境保全活動ができるようにするため、児童とその保護者を対象に見沼田んぼの自然環境(鳥・昆虫・植物)の観察、調査を実施する。	小学生とその保護者

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 ①12月10日 ②12月5日～28日 ③1月4日～31日	コンクールを通じて地球温暖化問題に対する意識啓発が図られた。	実施日 ①12月9日 ②12月4日～28日 ③1月4日～31日
場 所 ①フレンディア※表彰式 ②第一本庁舎※展示 ③鳩ヶ谷庁舎※展示		場 所 ①フレンディア※表彰式 ②第一本庁舎※展示 ③鳩ヶ谷庁舎※展示
参加者 634名		定 員 なし
決算額 262千円		予算額 300千円
実施日 4-6月:入門編 7-9月:初級編		実施日 事業終了
場 所 各家庭	子どもたちが家庭のリーダーとなって省エネやごみ減量作戦に取り組むことで、温室効果ガス排出量削減が図られた。	場 所 -
参加者 入門編:1,446名 初級編:185名		定 員 -
決算額 2,898千円		予算額 -
実施日 通年		実施日 通年
場 所 学校等	児童・生徒が環境について効果的に学ぶことができた。	場 所 学校等
参加者 9,445名		定 員 ー
決算額 0円(委託料に含む)		予算額 0円(委託料に含む)
実施日 6月4日,7月9日,9月10日,11月12日,2月4日		実施日 5月13日,6月3日,7月8日,9月30日,11月11日,2月3日
場 所 見沼自然の家	例年、参加者には好評を受けており、身近な自然や生きものに興味を持ってくれた親子も見れた。	場 所 見沼自然の家
参加者 40名		定 員 40名
決算額 162千円		予算額 190千円

担当	事業名	事業内容	対象者
自然保護対策課	夜のいきもの観察会	子どもたちが環境問題に興味を持ち、自主的に環境保全活動ができるようにするため、児童とその保護者を対象にイイナパーク川口において、夜の自然環境(鳥・昆虫・植物)の観察、調査を実施する。	小学生とその保護者
自然保護対策課	夜のいきもの観察会	子どもたちが環境問題に興味を持ち、自主的に環境保全活動ができるようにするため、児童とその保護者を対象に川口市立グリーンセンターにおいて、夜の自然環境(鳥・昆虫・植物)の観察会を実施する。	小学生とその保護者
資源循環課	親子で学ぼう環境の旅	親子でリサイクル工場等を見学し、ごみの減量や分別排出への意識の向上を図る。	市内在住の児童とその保護者
リサイクルプラザ	リサイクル工作教室	資源循環型社会におけるリサイクルの大切さを学んでもらうことを目的に、廃材などを活用したリサイクル工作教室を実施する。	市内在住の小学生以下(小学3年生以下の参加は保護者付添い)

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 7月23日	募集定員30組のところ、約300組の応募があり、大変反響のある事業となった。令和5年度は実施回数を増やすなど規模を拡大して実施する。	実施日 7月21日,7月28日,8月4日
場 所 イイナパーク川口		場 所 イイナパーク川口
参加者 60名		定 員 各回60名
決算額 10千円		予算額 102千円
実施日 ー	令和5年度より実施。	実施日 8月11日
場 所 ー		場 所 川口市立グリーンセンター
参加者 ー		定 員 200名
決算額 ー		予算額 1,324千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 8月4日
場 所 ー		場 所 環境局中防合同庁舎・埋立処分場 東京臨海広域防災公園
参加者 ー		定 員 43名
決算額 0千円		予算額 146千円
実施日 12月18日	参加者が実際に廃材等を使用することで、リサイクルの大切さを学ぶことができた。	実施日 7月30日、12月24日
場 所 リサイクルプラザ		場 所 リサイクルプラザ
参加者 12名		定 員 16名
決算額 0千円		予算額 30千円

担当	事業名	事業内容	対象者
産業労働政策課	映像関連普及事業	(CG制作体験教室) 自分が描いた絵を動かして、CGアニメーションを制作する。 (映像制作体験教室) 演出、主演、撮影、編集等全てを担当して15分程度の短編映画を制作する。	(CG制作体験教室) 市内小学生 (映像制作体験教室) 市内小学4～6年生
産業振興課	技能フェスタ	川口市市産品フェア2022において以下の体験教室を実施。 ①キャラクターぶんちんづくり ②手形アートづくり ③七宝キーホルダーづくり ④木の鉛筆づくり ⑤銅板表札・銅板マンガ絵 ⑥サンドブラスト ⑦カラフル漆喰トレイ・木の電車オブジェ ⑧コマの色付け、木のタマゴにお絵描き	小・中学生
産業振興課	中学生社会科見学	市内中学校の生徒を川口市市産品フェアに招待し、各会場を見学してもらう。	市内中学校の生徒
グリーンセンター	子どもネイチャー教室	カブト虫の飼育等を通じて昆虫や植物にふれあう機会を提供し、青少年の自然科学知識、教養の向上に寄与することを目的とする。	幼児～小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 【CG制作体験教室】 夏季・秋季合計9日間 【映像制作体験教室】 Aコース・Bコース各5日間	川口市内の小学生がCG教室や短編映画制作を通じて、次世代産業への理解・興味・感心が向上した。	実施日 【CG制作体験教室】 夏季:7月26、27日、8月5日 秋季:未定 【映像制作体験教室】 8月21、23、24、28、29日
場 所 【CG制作体験教室】 SKIPシティ 【映像制作体験教室】 SKIPシティ		場 所 【CG制作体験教室】 SKIPシティ 【映像制作体験教室】 SKIPシティ
参加者 【CG制作体験教室】 (夏)94名(秋)73名 【映像制作体験教室】 Aコース・Bコース 合計12名		定 員 【CG制作体験教室】 (夏)60名(秋)未定 【映像制作体験教室】 16名
決算額 4,731千円		予算額 4,731千円
実施日 10月22日～23日	「技」と「腕」を持つ職業の方と一緒に、ものづくりの楽しさを体験できた。	実施日 10月28日～29日
場 所 SKIPシティ		場 所 川口オートレース場
参加者 410名		定 員 519名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 10月21日	市内中学校の生徒に、市内企業や製品、産業団体等を知ってもらい、地元産業に関する知識や関心を持ってもらうことができた。	実施日 10月27日
場 所 SKIPシティ		場 所 川口オートレース場
参加者 287名		定 員 昨年と同程度
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 5/21、6/18、7/23、9/3、12/3	自然体験を通じて、青少年の自然科学知識、教養の向上に寄与し、グリーンセンターの魅力を伝えることが出来た。	実施日 5/20、6/17、7/22、9/2、12/2
場 所 グリーンセンター内		場 所 グリーンセンター内
参加者 延べ84組		定員 20組
決算額 21千円		予算額 20千円

担当	事業名	事業内容	対象者
みどり課	自然ふれあい教室	川口市に残る貴重な自然の中の散策や、木の実など身近な自然の素材を用いた工作。	市内在住の小学生
上下水道総務課	上下水道学習事業 「水の学習会」	夏休みを利用し、小学生とその保護者を対象に水道に関し学ぶ機会を提供することを目的に学習会を実施する。	市内在住の小学生及びその保護者
医療センター病院総務課	高校生パパ・ママ体験学習	新生児の沐浴、授乳の手伝い、おむつ交換、新生児室の環境整備等を行う。	川口市内在住の高校生
生涯学習課	子ども大学かわぐち 実行委員会交付事業	子ども大学かわぐちの計画・実施を行う実行委員会に対し補助金を交付する。	子ども大学かわぐち実行委員会
幸栄公民館	子どもクッキング教室	料理 「みそマヨチキン、マカロニサラダ、コーンパン、フルーツゼリー」を作る。	市内在住・在学の小学3年生～6年生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 ①10月8日②3月11日	市内に残る貴重な自然に触れるなかで、自然の大切さについて理解を深め、自然環境を保全していくことの重要性を学べる体験学習の場となっている。	実施日 10・3月
場 所 見沼自然の家及び見沼田んぼ		場 所 見沼自然の家及び見沼田んぼ
参加者 ①11名 ②14名		定 員 各回15名 合計30名
決算額 ①45千円 ②27千円		予算額 83千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 8月26日
場 所 -		場 所 栃木県鹿沼市南摩ダム他(予定)
参加者 -		定員 30名
決算額 60千円		予算額 447千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止。	実施日 中止
場 所 —		場 所 —
参加者 —		定員 —
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 7/24,7/31,8/7,8/21,9/11	学校で学ぶこととは一味違った内容を学習することができた。	実施日 7/23,8/6,8/20,9/3,9/10
場 所 青木東公民館・鳩ヶ谷庁舎		場 所 青木会館ほか
参加者 のべ226名		定 員 50名
決算額 200千円		予算額 200千円
実施日 8月19日	料理を通し、青少年の健全育成を図れた。	実施日 7月29日
場 所 料理実習室		場 所 料理実習室
参加者 10名		定 員 10名
決算額 39千円		予算額 28千円

担当	事業名	事業内容	対象者
幸栄公民館	子ども科学教室①②	①化石発掘！地層を知ろう ②汚れの科学と石けん	市内在住・在学の小学 3年生～6年生
幸栄公民館	子ども太鼓	幸栄地区連合町会主催の体育祭 において、子どもたちが初午太鼓 を披露する。	栄町2丁目町会の初午 太鼓の子ども
幸栄公民館	子どもお菓子作り教室	お菓子作り 「チョコレートマフィン」	市内在住・在学の小学 3年生～6年生
幸栄公民館	英語で遊ぼう	ゲームや歌で、身近な英語を学 ぶ。	市内在住・在学の小学 2～4年生
並木公民館	三世代ふれあい事業	児童と地域の高齢者及び地域サ ポーターが集いふれあうことで交流 を深め、相手を理解し「思いやりの 心」「親切な心」尊敬の心」を醸成 する。	小学生 高齢者

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 10月29日①AM②PM	学習やものづくりを通して、科学への興味を高めることが出来た。	実施日 10月14日①AM②PM
場 所 視聴覚室		場 所 視聴覚室
参加者 ①9名 ②9名		定 員 ①10名 ②10名
決算額 1千円		予算額 20千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 10月1日
場 所 ー		場 所 幸町小学校
参加者 ー		定 員 未定
決算額 0千円		予算額 19千円
実施日 2月4日	お菓子作りを通し、青少年の健全育成を図れた。	実施日 2月3日
場 所 料理実習室		場 所 料理実習室
参加者 10名		定 員 10名
決算額 6千円		予算額 28千円
実施日 2月18日、25日	楽しみながら、英語に親しみ学ぶことができた。	実施日 実施予定なし
場 所 視聴覚室		場 所 ー
参加者 のべ7名		定 員 ー
決算額 9千円		予算額 ー
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	実施日 6月10日
場 所 ー		場 所 並木公民館
参加者 ー		定 員 150名
決算額 0千円		予算額 38千円

担当	事業名	事業内容	対象者
並木公民館	子どもスポーツ大会	スポーツ大会を通じて子供たちが地域社会における正しい集団生活と社会道徳を学ぶ。	小学生
並木公民館	夏休み茶道体験教室	伝統文化である茶道を体験することで一期一会やおもてなしの心に触れる。	小学生 中学生
並木公民館	夏休み子ども工作教室 1回	ものづくりの楽しさを学ぶ等体験学習の充実を図る。	小学生
並木公民館	夏休み子ども工作教室 2回	ものづくりの楽しさを学ぶ等体験学習の充実を図る。	小学生
西公民館	西公民館地区少年ソフトボール大会	少年ソフトボール大会 (令和5年度から小学生ソフトボール大会に変更)	西公民館地区内の小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 9月25日	地域の子供たちへ健全育成の推進が図られた。	実施日 9月24日
場 所 並木小学校		場 所 並木小学校
参加者 50名		定 員 50名
決算額 0千円		予算額 5千円
実施日 8月6日	地域の子供たちへ健全育成の推進が図られた。	実施日 8月5日
場 所 並木公民館		場 所 並木公民館
参加者 10名		定 員 16名
決算額 8千円		予算額 21千円
実施日 7月27日～28日	地域の子供たちへ健全育成の推進が図られた。	実施日 7月26日～27日
場 所 並木公民館		場 所 並木公民館
参加者 22名		定 員 15名
決算額 11千円		予算額 23千円
実施日 8月4日～5日	地域の子供たちへ健全育成の推進が図られた。	実施日 8月17日～18日
場 所 並木公民館		場 所 並木公民館
参加者 16名		定 員 20名
決算額 9千円		予算額 23千円
実施日 5月8日	青少年の健全育成と体力の向上に役立った。	実施日 5月14日
場 所 三領運動場		場 所 三領運動場
参加者 100名		定 員 100名
決算額 0千円		予算額 35千円

担当	事業名	事業内容	対象者
西公民館	西公民館地区少女ソフトバレーボール大会	少女ソフトバレーボール大会(交流試合) (令和5年度から小学生ソフトバレーボール大会に変更)	西公民館地区内の小学生
西公民館	夏休み子ども料理教室	料理 (令和5年度はオンライン配信)	小学生
西公民館	ふれあいスポレック教室	スポレック体験教室	西公民館地区内の小学生
西川口公民館	少年少女スポーツ大会	少年少女がスポーツを通じて親睦を図ることにより、健全な心を養う。	市内在住または在学の小学校1年生～6年生
西川口公民館	子どもジャズヒップホップダンス教室 (横曽根公民館と共催)	ダンスの基礎を習得し、ダンスを通して皆で一つのものを創り上げる楽しさを学ぶ。	市内在住または在学の小学校3年生～6年生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 7月3日	青少年の健全育成と体力の向上に役立った。	実施日 7月2日
場 所 西公民館		場 所 西公民館
参加者 80名		定 員 100名
決算額 0千円		予算額 35千円
実施日 ー	令和5年度より実施。	実施日 8月
場 所 ー		場 所 オンライン配信
参加者 ー		定 員 オンライン配信
決算額 ー		予算額 30千円
実施日 ー	令和5年度より実施。	実施日 2月
場 所 ー		場 所 西公民館
参加者 ー		定 員 100名
決算額 ー		予算額 30千円
実施日 6月19日	少年少女それぞれのスポーツを通して交流と親睦を図ることができた。	実施日 6月18日
場 所 仲町小学校 グラウンド・体育館		場 所 仲町小学校 グラウンド・体育館
参加者 136名		定 員 100名
決算額 11千円		予算額 40千円
実施日 7月26日 27日 7月28日 29日	ダンスの基本ステップを学ぶ楽しさや難しさを通して、子どもたち同士の交流や親睦を図ることができた。	実施日 7月
場 所 横曽根公民館 集会室		場 所 横曽根公民館 集会室
参加者 52名		定 員 30名
決算額 0千円		予算額 0千円(横曽根公民館支出)

担当	事業名	事業内容	対象者
西川口 公民館	子ども工作教室 (横曽根公民館と共催)	物作りの楽しさを知るとともに、参加者相互の交流を深める。	市内在住または在学の小学校3年生～6年生
西川口 公民館	子ども料理教室 (横曽根公民館と共催)	子どもたちが皆で料理を作ることで、子どもたちの相互の交流、親睦を図るとともに、作る楽しさと食の大切さを学ぶ。	市内在住または在学の小学校3年生～6年生
西川口 公民館	西川口公民館地区青少年育成レクリエーション大会 (横曽根公民館と共催)	西川口公民館地区のより多くの青少年少女たちが楽しめる競技を通じて親睦を図ることにより、健全な心を養う。	市内在住または在学の小学校1年生～6年生
西川口 公民館	子どもクリスマス会	いろいろなゲーム等の遊びを通して地区の子どもたちの相互の親睦を図る。	西川口地区の小学校1年生～6年生
西川口 公民館	キャラ弁作り教室	共同でキャラクター弁当を作ることにより、保護者との親睦を深め、料理作りの楽しさを学ぶ。	市内在住または在学の小学校4年生～6年生とその保護者

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 8月4日	箸の絵付けや、箸を使ったゲーム等を通して子ども同士の交流が深まり、親睦を図ることができた。	実施日 8月
場 所 横曽根公民館 集会室		場 所 横曽根公民館 集会室
参加者 20名		定 員 30名
決算額 5千円		予算額 20千円
実施日 8月25日	料理作りを体験することにより、自分達で調理をした達成感や楽しさを味わうことができた。	実施日 8月
場 所 横曽根公民館 料理実習室		場 所 横曽根公民館 料理実習室
参加者 16名		定 員 16名
決算額 0千円		予算額 0千円(横曽根公民館支出)
実施日 中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	実施日 実施予定なし
場 所 —		場 所 —
参加者 —		定 員 —
決算額 0千円		予算額 —
実施日 12月10日	いろいろなゲームやレクリエーションを通して、子どもたち同士の交流を深め親睦を図ることができた。	実施日 12月
場 所 仲町小学校 体育館		場 所 仲町小学校 体育館
参加者 40名		定 員 40名
決算額 30千円		予算額 40千円
実施日 12月18日	保護者と共同での弁当作りを通して、料理に関する興味関心を深め、一緒に作る楽しさを体験することができた。	実施日 10月
場 所 横曽根公民館 料理実習室		場 所 横曽根公民館 料理実習室
参加者 16名		定 員 16名
決算額 10千円		予算額 40千円

担当	事業名	事業内容	対象者
横曽根 公民館	雑木林の自然と遊び の教室	カブトムシの観察と飼育を通じて親 子で自然界における様々な昆虫の 生態系の仕組みを学習する。	地区内小学生
横曽根 公民館	地区親善子どもレクリ エーション大会	サイクリング、アスレチックを通じて 地域交流、仲間づくりを図る。	地区内小学生
横曽根 公民館	地区少年少女グラウ ンドゴルフ大会	グラウンドゴルフ競技を通じて、青 少年の健全育成を図る。	地区内小学生
横曽根 公民館	子どもジャズヒップホッ プダンス教室	ジャズヒップホップダンスを通じ、友 達と一緒に踊る楽しさを学ぶと同時 に協調性を養う。	地区内小学生
横曽根 公民館	子ども料理教室	自分達で作った料理を食すること により、食の大切について学ぶ。	地区内小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 5月21日、6月18日、7月23日、9月3日、12月3日	カブト虫のたまご、幼虫、さなぎ、成虫それぞれの様子を観察したり触れることにより、自然の生態系を学習し、命の尊さについて学んだ。	実施日 5月20日、6月17日、7月22日、9月2日、12月2日
場 所 横曽根公民館		場 所 横曽根公民館
参加者 8組		定 員 12組
決算額 0円		予算額 3千円
実施日 6月5日	自然溢れる環境の中でレクリエーションを楽しむことができた	実施日 6月4日
場 所 武蔵丘陵森林公園		場 所 飯仲小学校
参加者 35人		定 員 100人
決算額 196千円		予算額 130千円
実施日 7月3日	グラウンドゴルフを体験することにより体を動かすことの楽しさを学んだ	実施日 7月2日
場 所 南町公園		場 所 南町公園
参加者 25名		定 員 50名程度
決算額 11千円		予算額 50千円
実施日 7月26日～29日	みんなと一緒に踊る楽しさが分かり、協調性も養うことができた。	実施日 7月25日～28日
場 所 横曽根公民館		場 所 横曽根公民館
参加者 29名		定 員 30名
決算額 3千円		予算額 8千円
実施日 8月25日	料理実習を通して食の大切さを学び、生きる力を育むことができた。	実施日 8月24日
場 所 横曽根公民館		場 所 横曽根公民館
参加者 16名		定 員 16名
決算額 2千円		予算額 14千円

担当	事業名	事業内容	対象者
横曽根 公民館	地区少年少女ドッジ ボール大会	スポーツをすることを通じて地区内 の友達との交流を図る。	地区内小学生
横曽根 公民館	横曽根公民館地区青 少年育成協議会会長 杯ソフトバレーボール 大会	少女ソフトバレーボール競技を通じ て、青少年の健全育成を図る。	地区内小学生
青木公 民館	子ども卓球教室	卓球のルールと基礎知識を習得 し、卓球を通じて子どもたちの交流 と親睦を深める。	小学生
青木公 民館	子ども折り紙教室	子どもたちに遊びの場を提供する とともに、折り紙の楽しさを体験す る。	小学生
青木公 民館	子どもボウリング教室	スポーツ活動を通じて、協調性や 思いやりの気持ち等を学ぶ。	小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 中止	雨天のため中止	実施日 9月23日
場 所 ー		場 所 南町公園
参加者 ー		定 員 未定
決算額 0千円		予算額 70千円
実施日 10月23日	地域で活動している団体が競い合い、日頃の練習の成果を発揮できる、子どもの成長の場となった。	実施日 10月22日
場 所 横曽根公民館		場 所 横曽根公民館
参加者 80名		定 員 70名
決算額 21千円		予算額 30千円
実施日 4月～3月	卓球を通じてスポーツの楽しさを体感することができ、友達同士の交流の場にもなった。	実施日 4月～3月
場 所 青木公民館		場 所 青木公民館
参加者 272名		定 員 20名
決算額 110千円		予算額 120千円
実施日 6月～7月	日本の伝統文化である折り紙の楽しさを知ることができた。	実施日 6月～7月
場 所 青木公民館		場 所 青木公民館
参加者 45名		定 員 20名
決算額 32千円		予算額 32千円
実施日 10月15日	ボウリングの楽しさを体感できた。	実施日 実施予定なし
場 所 アオキグランドボール		場 所 ー
参加者 35名		定 員 ー
決算額 64千円		予算額 ー

担当	事業名	事業内容	対象者
青木公民館	親子料理教室	親子で料理教室に参加することで、親子のふれあいの場を提供する。	小学生と保護者
青木公民館	親子クリスマスリース作り教室	クリスマスリースの作り方を学ぶとともに、子どもたちの交流と親睦を深める。	小学生
上青木公民館	上青木地区子ども運動会	上青木地区(6町会)合同による子ども運動会	上青木地区在住の小学生
上青木公民館	楽しい遊び教室(ドッジボール)	上青木地区(6町会)合同によるドッジボールの練習	上青木地区在住の小学生
上青木公民館	少年少女スポーツ大会(ドッジボール)	上青木地区(6町会)合同によるドッジボールの大会	上青木地区在住の小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 12月3日	料理の楽しさと食の大切さを学び、親子の絆を深めることができた。	実施日 実施予定なし
場 所 青木公民館		場 所 ー
参加者 20名		定 員 ー
決算額 22千円		予算額 ー
実施日 12月11日	親子で協力しながら楽しく作ることで、親子の絆を深めることができた。	実施日 実施予定なし
場 所 青木公民館		場 所 ー
参加者 11名		定 員 ー
決算額 8千円		予算額 ー
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止	実施日 5月21日
場 所 ー		場 所 上青木小学校校庭
参加者 ー		定 員 500名
決算額 0千円		予算額 110千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止	実施日 事業計画なし
場 所 ー		場 所 ー
参加者 ー		定 員 ー
決算額 0千円		予算額 ー
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止	実施日 事業計画なし
場 所 ー		場 所 ー
参加者 ー		定 員 ー
決算額 0千円		予算額 ー

担当	事業名	事業内容	対象者
上青木 公民館	楽しい遊び教室(ボッチャ)	上青木地区(6町会)合同によるボッチャの練習	上青木地区在住の小学生
上青木 公民館	少年少女スポーツ大会(ボッチャ)	上青木地区(6町会)合同によるボッチャの大会	上青木地区在住の小学生
上青木 公民館	夏休み親子陶芸教室	陶芸を通して親子のコミュニケーションを深めるとともに、陶芸についての関心や興味を育成する。	市内在住の小学生
上青木 公民館	夏休み合同ラジオ体操	上青木地区(6町会)合同によるラジオ体操	上青木地区在住の小学生
上青木 公民館	子ども公民館まつり	地域の小学生を対象に、ゲーム等で町会の枠を超えた子ども同士の交流を促し、健全な青少年育成を図る。	上青木地区在住の小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 ー	令和5年度より実施。	実施日 6月17,24日
場 所 ー		場 所 上青木公民館ホール
参加者 ー		定 員 400名
決算額 ー		予算額 47千円
実施日 ー	令和5年度より実施。	実施日 7月2日
場 所 ー		場 所 上青木公民館ホール
参加者 ー		定 員 300名
決算額 ー		予算額 48千円
実施日 7月23,8月7,21日	親子で楽しさや難しさを学び、協力することで、親子の絆を深めることができた。	実施日 7月22,8月20,27日
場 所 上青木公民館陶芸場 及び講座室1・2・3号		場 所 上青木公民館陶芸場
参加者 26名		定 員 32名
決算額 24千円		予算額 24千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止	実施日 7月30日
場 所 ー		場 所 上青木中学校校庭
参加者 ー		定 員 300名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止	実施日 中止
場 所 ー		場 所 ー
参加者 ー		定 員 ー
決算額 0千円		予算額 ー

担当	事業名	事業内容	対象者
上青木 公民館	親子防災訓練	上青木地区(6町会)合同による親子防災訓練	上青木地区在住の小学生
上青木 公民館	楽しい遊び教室(郷土かるた)	上青木地区(6町会)合同による郷土かるたの練習	上青木地区在住の小学生
上青木 公民館	郷土かるた上青木地区大会	上青木地区(6町会)合同による郷土かるたの大会	上青木地区在住の小学生
青木東 公民館	こども折り紙教室	日本文化の折紙を学ぶことで子どもたちの教養の向上を図るとともに、子どもの達同士の地域交流を深める。	小学生1～6年生
前川公 民館	こどもスポーツ教室(卓球・バトミントン)	スポーツを通じて、指導者である地域の大人との交流により社会性や協調性を養う。	小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 10月16日	災害や防災に興味を持つきっかけを作ること、また、災害に対する心構えや正しい知識を学ぶことができた。	実施日 10月15日
場 所 上青木小学校校庭		場 所 上青木小学校校庭
参加者 108名		定 員 200名
決算額 1千円		予算額 30千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止	実施日 11月25日,12月2,9日
場 所 —		場 所 上青木公民館視聴覚室
参加者 —		定 員 200名
決算額 0千円		予算額 70千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止	実施日 1月7日
場 所 —		場 所 上青木公民館視聴覚室
参加者 —		定 員 100名
決算額 0千円		予算額 70千円
実施日 6月18日から11月12日 計5回	折紙は慣れ親しんだ日本の遊びと文化を体験してもらうことにより折紙の楽しさと子どもたち同士の交流も深めることができた。また、青木地区は青木公民館に青少年育成協議会が設置されており、今回の当事業の保険代を青木地区青少年育成協議会より令和4年度のみ一部支出する。	実施日 実施予定なし
場 所 青木東公民館 講座室		場 所 —
参加者 20名		定 員 —
決算額 4千円		予算額 —
実施日 毎月第2土曜日 (4,8月は除く)	大人とのスポーツを通じて社会性及び協調性が養われた。	実施日 毎月第2土曜日 (4,8月は除く)
場 所 前川公民館 ホール		場 所 前川公民館 ホール
参加者 162名		定 員 300名
決算額 9千円		予算額 20千円

担当	事業名	事業内容	対象者
前川公民館	こどもの居場所(工作)	工作を通じて、指導者である地域の大人との交流により社会性や協調性を養う。	小学生
前川公民館	少年少女スポーツ大会	団体競技を通じてコミュニケーションを図り、協調性や助け合いの精神を学ぶ。	小学生
前川南公民館	地区少年・少女スポーツ大会	団体競技を通して、協調性や積極性を養う。	地区内の小学生
前川南公民館	子ども電子オルゴール作り体験教室 (子どもものづくり教室)	県立工業高等学校の生徒達に指導をしてもらいながら、電子オルゴールを組み立てオリジナル作品を作る。	地区内の小学生
前川南公民館	子どもレクリエーション (地区青少年育成協議会主催)	子ども同士のコミュニケーションをはかると共に協調性や責任感を養い、豊かな情操を育む。	地区内の小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 毎月第2,4水曜日 (4,8月は除く)	大人の指導により工作等の物づくりを通じ協調性が養われた。	実施日 毎月第2,4水曜日 (4,8月は除く)
場 所 前川公民館 講座室		場 所 前川公民館 講座室
参加者 128名		定 員 300名
決算額 18千円		予算額 16千円
実施日 7月24日	団体競技を通じて、協調性や助け合うことの大切さを学ぶことができた。	実施日 7月23日
場 所 前川公民館 ホール		場 所 前川公民館 ホール
参加者 45名		定 員 58名
決算額 54千円		予算額 30千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 事業計画なし
場 所 —		場 所 —
参加者 —		参加者 —
決算額 0千円		決算額 —
実施日 8月6日	子ども達に、作ることの楽しさを学ばせることができた。	実施日 7月23日
場 所 工作室・会議室		場 所 工作室・会議室
参加者 16名		定 員 30人程度
決算額 5千円		予算額 10千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 事業計画なし
場 所 —		場 所 —
参加者 —		定 員 —
決算額 0千円		予算額 —

担当	事業名	事業内容	対象者
前川南 公民館	書初め会(三町会)	新春行事であり、冬休みの課題学習の支援を図る。	地区内の小学生
前川南 公民館	子どもカルタ大会	郷土を題材としたカルタ遊びを通して、郷土愛を育む。	地区内の小学生
前川南 公民館	子ども夏休み勉強会	子ども同士のコミュニケーションをはかると共に夏休みの宿題や苦手教科の復習を行うもの。	地区内の小学生
前川南 公民館	地区子ども会かけっこ教室	体力向上を目指す。	地区内の小学生
南平公 民館	たのしい子どもひろば	日常生活では学べない、団体行動における大切なことを学ぶとともに、お互いにの親睦を図る。	市内在住の幼児・小中学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 12月25日	子ども達が課題に取り組む姿勢と、書道展への出展意欲を駆り立てる効果が期待される。	実施日 12月24日
場 所 体育ホール		場 所 体育ホール
参加者 21名		定 員 30名程度
決算額 5千円		予算額 30千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 事業計画なし
場 所 ー		場 所 ー
参加者 ー		定 員 ー
決算額 0千円		予算額 ー
実施日 事業計画なし	令和5年度より実施。	実施日 8/1～8/2 (2日間)
場 所 ー		場 所 会議室
参加者 ー		定 員 30名程度
決算額 ー		予算額 20千円
実施日 事業計画なし	かけっこの基本動作等を講師から正しく学び、子どもの体力を向上する。	実施日 8月3日
場 所 ー		場 所 体育ホール
参加者 ー		定 員 30人程度
決算額 ー		予算額 30千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 7月30日
場 所 ー		場 所 南平公民館
参加者 ー		定 員 200名
決算額 0千円		予算額 140千円

担当	事業名	事業内容	対象者
南平公民館	子どもペン習字教室	正しい字の書き方を学ぶ。	市内在住の小学1～2年生
南平公民館	子どもクリスマス会	クリスマスの行事のなかで合唱やゲームをしながら子ども達の健全育成を図る。	市内在住の小学1～6年生
朝日公民館	朝日子ども絵画教室	夏休み期間中、公民館地区の小学生を対象に、様々な表現方法や手法による絵画作品の制作を通して、感性や表現力を学び、青少年の健全育成に寄与する。	小学生
朝日公民館	朝日公民館地区少年少女スポーツ大会(なわとび大会)	朝日公民館地区青少年育成協議会が主催し、地区の子どもたちの親交を深めるとともに、心身の育成を図ることを目的とする。	小学生・親
朝日公民館	朝日公民館地区新春書初め席書大会	新年を迎え、地区の人々が書道を通して親睦の輪を広げるとともに、地域文化の振興に寄与することを目的とする。	幼児・小学生・中学生・高校生・一般

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 7月21日～22日(2回)	毎回テキストの課題に取り組み、低学年にも関わらず先生の指導のもと集中して励んだ。	実施日 7月25日～27日(3回)
場 所 南平公民館		場 所 南平公民館
参加者 39名		定 員 24名(延べ72名)
決算額 20千円		予算額 30千円
実施日 12月10日	小学生の参加者と中学生の参加者双方が同じものづくりを通じてボランティアスタッフとともに記憶に残る楽しいクリスマス会が開催できた。	実施日 12月9日
場 所 南平公民館		場 所 南平公民館
参加者 12名		定 員 25名
決算額 39千円		予算額 30千円
実施日 7月21日～8月10日	青少年の健全育成に寄与することができた。	実施日 7月26日～8月9日
場 所 朝日公民館		場 所 朝日公民館
参加者 15名		参加者 16名
決算額 48千円		決算額 48千円
実施日 12月3日	青少年の健全育成に寄与することができた。	実施日 12月上旬
場 所 十二月田小学校体育館		場 所 十二月田小学校体育館
参加者 67名		参加者 70名
決算額 140千円		決算額 140千円
実施日 1月9日	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため規模を縮小し、新春書きぞめ大会として展示のみを行った、青少年の健全育成に寄与することができた。	実施日 1月7日
場 所 朝日公民館		場 所 朝日公民館
参加者 9名		参加者 70名
決算額 50千円		決算額 50千円

担当	事業名	事業内容	対象者
領家公民館	夏季少年・少女スポーツ大会	スポーツを通じて、正しい集団行動と望ましい社会道徳を身につけさせると共に、青少年の健全育成を図る。	地区小学生
領家公民館	サマーキャンプ	子どもを自然に親しませ、集団宿泊活動を通じて規律・共同奉仕・友愛の精神を育み、心身とも健全なる育成を図る。	地区小学生
領家公民館	領子連フェスティバル	日常生活の変容等、地域社会における正しい集団生活と望ましい社会道徳を身に付けさせるとともに、青少年の健全育成を図る。	地区小学生
領家公民館	春季少年・少女スポーツ大会	スポーツを通じて、正しい集団行動と望ましい社会道徳を身につけさせると共に、青少年の健全育成を図る。	地区小学生
朝日東公民館	ミニバス教室	ミニバスケットボールを通して技術の向上、参加者同士のコミュニケーションの醸成およびスポーツマナーの理解を図る。	小学校4年～6年生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 6月4日
場 所 ー		場 所 東領家小学校
参加者 ー		定 員 200名
決算額 0千円		予算額 20千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 8月19・20日
場 所 ー		場 所 茨城県常陸太田市
参加者 ー		定 員 100名
決算額 0千円		予算額 240千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 11月5日
場 所 ー		場 所 東領家小学校
参加者 ー		定 員 300名
決算額 0千円		予算額 30千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 3月3日
場 所 ー		場 所 東領家小・東スポ
参加者 ー		定 員 200名
決算額 0千円		予算額 20千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止	実施日 5月～7月、2月～3月
場 所 ー		場 所 朝日東公民館
参加者 ー		定 員 各20名
決算額 0千円		予算額 30千円

担当	事業名	事業内容	対象者
朝日東 公民館	子ども料理教室	調理実習を体験することにより栄養バランスと調理について学ぶ。コミュニケーション能力を育む。	小学生
朝日東 公民館	育成会バザー	育成会での模擬店、バザーに地区委員及び保護者と子どもが運営・参加し、地域の異世代との交流を図る。	公民館地区市民等
朝日東 公民館	子ども工作教室	工作を通して創造の楽しさを学ぶ。	小学生
朝日東 公民館	少年少女スポーツ大会	縄跳びを通してチームスポーツの楽しさ、チームワークの大切さ等を体験する。	小学生
新郷公 民館	七夕まつり	日本古来の季節伝統行事を語り継ぐとともに青少年の健全育成を図り、併せて明るい社会づくりに寄与する。	地区内の幼児・児童及び保護者

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 7月24日	調理技術を覚えるとともに、協力して料理を作るという体験からコミュニケーション能力を育むことができる。	実施日 7月23日
場 所 朝日東公民館		場 所 朝日東公民館
参加者 12名		定 員 10名
決算額 6千円		予算額 10千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 8月27日
場 所 ー		場 所 朝日東公民館
参加者 ー		定 員 ー
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 7月30日、8月6日	工作を通して創造の楽しさを学べる。	実施日 7月29日、8月5日
場 所 朝日東公民館		場 所 朝日東公民館
参加者 20名		定 員 各10名
決算額 17千円		予算額 10千円
実施日 12月4日	チームワーク等について学ぶ。	実施日 12月3日
場 所 市立高校第2校地体育館		場 所 市立高校第2校地体育館
参加者 120名		定 員 ー
決算額 49千円		予算額 110千円
実施日 7月2日	規模を縮小しての開催でしたが七夕まつりを通じて、子供たちに日本古来の季節伝統行事を継承するとともに、青少年の健全育成を図った。	実施日 7月8日
場 所 新郷公民館		場 所 新郷公民館
参加者 780名		定 員 700名
決算額 300千円		予算額 200千円

担当	事業名	事業内容	対象者
新郷公民館	親子着衣水泳教室 (新郷南公民館と共催)	通常の水着では体験できない「非常時」に、いざという時に落ち着いて対応できるよう体験する。	地区内の親子
新郷公民館	夏休み！小学生科学教室 (公民館事業と共催)	ものづくりを通して科学の豆知識を習得する。	地区内の小学生
新郷公民館	親子ふれあいドッジビー大会(新郷南公民館と共催)	ドッジビーを通じて親子のふれあいの場を提供する。	地区内の親子
新郷南公民館	夏休み子ども工作教室	身近な材料を組み合わせる工作を行い、子ども個人の表現を通じて、作り出す喜びを学ぶ。	小学生
新郷南公民館	新南ふるさとまつり	まつりを通じて、地域の活性化と青少年の健全育成を図り、明るい社会づくりに寄与する。	地区内の幼児・児童及び保護者

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 次年度以降実施しない。	実施日 —
場 所 —		場 所 —
参加者 —		定 員 —
決算額 —		予算額 —
実施日 8月24日	参加した小学生が楽しんでものづくりをして、完成した時の喜びを体験して夏休みのよき思い出になった教室となりました。また、一緒に参加した保護からも夏休みに親子で楽しく過ごせて好評だった。	実施日 8月22日
場 所 新郷公民館		場 所 新郷公民館
参加者 22名		定 員 40名
決算額 15千円		予算額 15千円
実施日 3月5日	親子同じチームで競技を行い、試合に勝つためお互いに協力や連携をして、親子の親睦を深めることができた。	実施日 1月28日
場 所 新郷スポーツセンター		場 所 新郷スポーツセンター
参加者 150名		定 員 80名
決算額 70千円		予算額 100千円
実施日 8月20日	工作の面白さを体験して、作品を作る喜びを学ぶことができた。子ども同士がお互いの作品を見せ合い会話を交わして、交流を深めることができた。	実施日 8月19日
場 所 新郷南公民館		場 所 新郷南公民館
参加者 36名		定 員 20名
決算額 14千円		予算額 40千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 10月15日
場 所 —		場 所 新郷スポーツセンター
参加者 —		定 員 400名
決算額 0千円		予算額 180千円

担当	事業名	事業内容	対象者
新郷南公民館	子ども料理教室	子どもが自ら食に興味を持ち食事を作り、料理することの楽しさを体験することで明るい家庭環境の推進を図る。	小学生
新郷南公民館	親子ふれあいドッジビー大会(新郷公民館育成協議会)	ドッジビーを通じて親子のふれあいの場を提供する。	地区内の親子
神根公民館	子どもおもしろ科学教室	科学工作及び実験	小学生 低学年・高学年
神根公民館	わくわく子ども広場(2月)	チャレンジコーナー(ペタンク・射的等) 遊びのコーナー(木工工作・皿回し等) 模擬店コーナー(わたあめ・焼き芋等)を実施する。	小学生
神根公民館	子ども料理教室	料理実習	小学生2～中学3年生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 12月17日	自分で料理をする経験をして、自宅で料理の手伝いをするきっかけを与えることができて、家庭環境の推進を図れた。	実施日 11月～12月
場 所 新郷南公民館		場 所 新郷南公民館
参加者 21名		定 員 20名
決算額 22千円		予算額 40千円
実施日 3月5日	親子同じチームで競技を行い、試合に勝つためお互いに協力や連携をして、親子の親睦を深めることができた。	実施日 1月28日
場 所 新郷スポーツセンター		場 所 新郷スポーツセンター
参加者 150名		定 員 80名
決算額 70千円		予算額 100千円
実施日 7月28日～29日	工作や実験に対する興味の醸成が図られた。	実施日 7月27日～28日
場 所 神根公民館 会議室		場 所 神根公民館 会議室
参加者 延 57人		定 員 各 20名
決算額 48千円		予算額 56千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	実施日 2月25日
場 所 ー		場 所 神根公民館 全館
参加者 ー		定 員 100名
決算額 0千円		予算額 180千円
実施日 11/26,12/24,1/28,2/18	料理に対する興味の醸成が図られた。	実施日 未定
場 所 神根公民館料理実習室		場 所 神根公民館料理実習
参加者 延 73人		定 員 20人
決算額 64千円		予算額 64千円

担当	事業名	事業内容	対象者
根岸公民館	親子歩け歩け大会	・ウォーキング根岸公民館～川口自然公園間の往復 ・川口自然公園での自然観察及びゲーム等	地区内小学生及びその保護者
根岸公民館	子どもレクリエーション	各種ゲームによるスタンプラリー	地区内小学生
根岸公民館	子ども工作教室	工作体験	市内小学生
根岸公民館	地区体育祭	地区体育祭小学生種目等に参加	地区小学生
根岸公民館	地区文化祭	地区文化祭参加及び草花販売	地区小学生、各町会育成委員及び保護者

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 5月13日
場 所 ー		場 所 川口自然公園他
参加者 ー		定 員 200名
決算額 0千円		予算額 30千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 6月18日
場 所 ー		場 所 根岸体育館
参加者 ー		定 員 200名
決算額 0千円		予算額 20千円
実施日 7月17日	手作りの楽しさや創意工夫、達成感を養う。	実施日 8月6日
場 所 根岸公民館		場 所 根岸公民館
参加者 15名		定 員 24名
決算額 9千円		予算額 0千円
実施日 10月2日	地域住民との協調性を養う。 スポーツに対する意識の高揚及びスポーツマンシップを育む。	実施日 10月1日
場 所 根岸小学校		場 所 根岸小学校
参加者 100名		定 員 200名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 11月4日・5日
場 所 ー		場 所 根岸公民館・体育館
参加者 ー		定 員 200名
決算額 0千円		予算額 0千円

担当	事業名	事業内容	対象者
根岸公民館	子どもスポーツレクリエーション	ローテーション制による6種類の競技	地区内小学生
根岸公民館	新春子ども書初め大会	川口市子ども書道展及び公民館コンクール出展作品の制作	地区内小学生
根岸公民館	彩の国21世紀郷土かるた根岸地区大会	団体戦及び個人戦、それぞれ4ブロックによるリーグ戦	地区内小学生
神根西公民館	夏休み子ども体験教室	小学生を対象とし、木工工作、科学体験、料理体験を通じ、作ることの楽しさを学びながら知る。	市内在住の小学生
神根西公民館	子ども芋掘り大会	芋掘りを行うことにより、体験する喜びと、食の大切さを学ぶ。	地区内の小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大のため急遽事業中止。 (参加賞購入済み)	実施日 11月12日
場 所 ー		場 所 根岸小学校
参加者 ー		定 員 200名
決算額 11千円		予算額 15千円
実施日 1月9日	毛筆に親しみながら書道文化を継承することができた。	実施日 1月8日
場 所 根岸公民館		場 所 根岸公民館
参加者 49名		定 員 50名
決算額 20千円		予算額 20千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 1月21日
場 所 ー		場 所 根岸体育館
参加者 ー		定 員 150名
決算額 0千円		予算額 25千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 8月1日から8月4日
場 所 ー		場 所 神根西公民館・北スポーツセンター
参加者 ー		定 員 各日24人
決算額 0千円		予算額 41千円
実施日 10月9日	地域の人たちと一体となって芋掘りを行い体験することにより、食の大切さを学んだ。	実施日 6月18日
場 所 北スポーツセンター付近の畑		場 所 北スポーツセンター付近の畑
参加者 80名		定 員 120人
決算額 37千円		予算額 67千円

担当	事業名	事業内容	対象者
神根東 公民館	花見&スポーツ大会	花見鑑賞に伴い自然と触れ合って 感受性を高め、グランドゴルフと ティーボール競技等を行い、地区 の交流を深める。	市内在住・在学の小学 生
神根東 公民館	バドミントン教室	小学生にバドミントンの楽しさを体 感させ、日頃のストレス解消と友達 とのコミュニケーションを図る機会 の場として活用する。	市内在住・在学の小学 生
神根東 公民館	少年少女スポーツ大 会	ドッジボールを楽しみながら、地区 の親睦を図る。	市内在住・在学の小学 生
神根東 公民館	神根東文化祭	文化祭を通して、地域づくりの関心 や感性を深める。	一般
神根東 公民館	青少年館外学習	バスを利用して市内外へ赴き、 様々な文化等を学ぶことによって、 視野を拓ける。	市内在住・在学の小学 生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 4月1・2日
場 所 ー		場 所 江川グラウンド
参加者 ー		定 員 30名
決算額 0千円		予算額 10千円
実施日 4月～3月	小学生に安心して遊べる場所を提供することで、笑顔があふれることを実感した。	実施日 4月～3月
場 所 神根東公民館		場 所 神根東公民館
参加者 208名		定 員 20名
決算額 29千円		予算額 45千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 6月18日
場 所 ー		場 所 神根東公民館
参加者 ー		定 員 70名
決算額 0千円		予算額 30千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 11月4・5日
場 所 ー		場 所 神根東公民館
参加者 ー		定 員 300名
決算額 0千円		予算額 10千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 10月
場 所 ー		場 所 未定
参加者 ー		定 員 20名
決算額 0千円		予算額 65千円

担当	事業名	事業内容	対象者
芝公民館	夏休み子ども料理教室	食の大切さを学ぶ。	小学生
芝公民館	夏季バスハイク	自然を楽しみ、仲間と楽しい1日を過ごし、且つ異年齢との交流により協調性や自主性、道徳性を育む。	小学生
芝公民館	こども縁日	地域の文化祭に参加し、輪投げやストラックアウトなどの催しを実施。	文化祭に来た子どもたち
芝公民館	少年少女スポーツ大会	子どもたちがスポーツを通じて親睦を深め、協調性を健全な心を養う。	小学生
芝南公民館	少年少女スポーツ大会	地域の大人の協力により、子ども同士の連携や子どもと大人の異年齢交流を図る。	地区在住の親と子

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 実施予定なし
場 所 ー		場 所 ー
参加者 ー		定 員 ー
決算額 0千円		予算額 ー
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 8月22日
場 所 ー		場 所 市内施設の予定
参加者 ー		定 員 20名
決算額 0千円		予算額 150千円
実施日 11月12日	多くの子どもたちが参加し、大いに賑わっていた。	実施日 9月2日、11月11日
場 所 芝公民館		場 所 芝公民館
参加者 のべ279名		定 員 なし
決算額 54千円		予算額 250千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 11月19日
場 所 ー		場 所 芝スポーツセンター
参加者 ー		定 員 200名
決算額 0千円		予算額 100千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 6月18日
場 所 ー		場 所 芝南小学校校庭
参加者 ー		定 員 100名
決算額 0千円		予算額 90千円

担当	事業名	事業内容	対象者
芝南公民館	子どもバドミントン大会	バドミントンの技術を学ぶことはもとより、スポーツを通して子どもたち同士の交流を深める。	小学生
芝南公民館	郷土かるた芝南公民館地区大会	子どもたちに遊びの場所を提供すると同時に昔ながらの楽しさを体験する。	小学生
芝南公民館	彩の国21世紀郷土かるた川口市大会	子どもたちに遊びの場所を提供すると同時に昔ながらの楽しさを体験する。	小学生
芝西公民館	少年少女スポーツ大会	スポーツ(ミニソフトバレーボール)を通して規則正しい集団活動と社交性を養う。	小学3～6年生
芝西公民館	夏休み子ども工作広場	夏休みの機会に木工工作を学習する機会を提供する。	小・中学生(小学校低学年は親子)

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 1月7日
場 所 ー		場 所 芝南小学校体育館
参加者 ー		定 員 100名
決算額 0千円		予算額 75千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 12月3日
場 所 ー		場 所 芝南公民館
参加者 ー		定 員 30名
決算額 0千円		予算額 20千円
実施日 2月5日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小して開催。かるたを通して郷土文化に触れた。	実施日 2月4日
場 所 戸塚西公民館		場 所 戸塚西公民館
参加者 11名(うち選手4名)		定 員 30名
決算額 14千円		予算額 40千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 7月
場 所 ー		場 所 芝西公民館ホール
参加者 ー		定 員 200名
決算額 0千円		予算額 39千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 8月
場 所 ー		場 所 芝西公民館駐車場
参加者 ー		定 員 100名
決算額 0千円		予算額 32千円

担当	事業名	事業内容	対象者
芝西公民館	子ども料理教室	料理を習得するとともに、学年を超えた集団行動と社交性を養う。	小学3～6年生
芝西公民館	子どもの居場所学習事業 (子ども卓球広場)	芝西公民館活動団体による卓球の指導を通じ、地域との交流を図るとともに、子どもの居場所を確保する。	小学生
芝北公民館	子ども茶道体験教室	日本の伝統文化である茶道を体験することで、日本の文化や美しい作法を学ぶ。	柳崎小学校小学6年生
芝北公民館	子ども卓球教室 (川口市子どもの居場所学習事業)	子ども達に遊びの場所を提供するとともに、地域の指導者から卓球の楽しさを学ぶ。	小学1～小学6年生
芝北公民館	文化祭子ども広場	文化祭において、子どもたちに遊びの場所を提供するとともに、昔ながらの遊びの楽しさを体験する。	文化祭に来た子どもたち

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 11月～12月の土曜3日間
場 所 ー		場 所 芝西公民館料理実習室
参加者 ー		定 員 16名
決算額 0千円		予算額 27千円
実施日 第2・第4火曜日	子どもの放課後の居場所づくりの場として、地域の人々と交流する機会を提供することができた。	実施日 第2・第4火曜日
場 所 芝西公民館ホール		場 所 芝西公民館ホール
参加者 のべ57名		定 員 のべ380名
決算額 12千円		予算額 12千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 5月23日
場 所 ー		場 所 公民館日本間1号
参加者 ー		定 員 100名
決算額 0千円		予算額 15千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 6月～3月
場 所 ー		場 所 公民館ホール
参加者 ー		定 員 15名
決算額 0千円		予算額 15千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 11月12日
場 所 ー		場 所 公民館駐車場
参加者 ー		定 員 未定
決算額 0千円		予算額 20千円

担当	事業名	事業内容	対象者
芝北公民館	柳崎小学校ブラスバンド演奏会	柳崎小学校ブラスバンド部が練習してきた成果を、地区文化祭で発表することで、音楽の楽しさをより一層深める。	柳崎小学校ブラスバンド部員
芝北公民館	少年少女スポーツ大会	子ども同士(他の町会間)の親睦を図り、スポーツの楽しさを体験する。	地区内の小学1～6年生
芝北公民館	子ども折り紙教室	子どもたちに指導者から折り紙の楽しさを学ぶ。	小学1～6年生
芝北公民館	親子フラダンス教室	親子でフラダンスを体験し、楽しさを学ぶ。	6歳～小学6年生とその保護者
芝富士公民館	わんぱく卓球	卓球を通じて大人と子ども達のふれあいの場を作る。	小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 11月12日
場 所 ー		場 所 公民館ホール
参加者 ー		定 員 未定
決算額 0千円		予算額 10千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 11月26日
場 所 ー		場 所 柳崎小学校
参加者 ー		定 員 未定
決算額 0千円		予算額 50千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 12月～3月
場 所 ー		場 所 公民館講座室
参加者 ー		定 員 15名
決算額 0千円		予算額 10千円
実施日 事業計画なし	令和5年度より実施。	実施日 6月～10月
場 所 ー		場 所 公民館ホール
参加者 ー		定 員 10名
決算額 ー		予算額 10千円
実施日 5/11～3/22 全16回	放課後に卓球を通して、大人と子ども達のふれあいと子ども達の健全な成長に寄与した。	実施日 4/12～3/27 全19回
場 所 芝富士公民館		場 所 芝富士公民館
参加者 延べ329名		目 標 500名
決算額 77千円		予算額 90千円

担当	事業名	事業内容	対象者
芝富士 公民館	子どもものづくり教室 (科学) パート1	科学工作や実験を通して科学に対する理解や探求心を育む。	小学生
芝富士 公民館	子どもものづくり教室 (科学) パート2	科学工作や実験を通して科学に対する理解や探求心を育む。	小学生
芝富士 公民館	クリスマスサプライズ 企画	心をこめたクリスマスカードを作成し、送ることで豊かな創造性や感受性を養う。	小学生
芝富士 公民館	子どもものづくり教室 (料理)	料理作りを通して食の大切さを学ぶ。	小学生
芝園公 民館	夏休み子どもサマー スクール	夏休みの図工教室	小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 1月21日	試行錯誤しながら作品を作る過程で、科学的興味を喚起した。	実施日 8月8日
場 所 芝富士公民館		場 所 芝富士公民館
参加者 11名		定 員 40名
決算額 7千円		予算額 40千円
実施日 事業計画なし	令和5年度より実施。	実施日 1月未定
場 所 ー		場 所 芝富士公民館
参加者 ー		定 員 40名
決算額 ー		予算額 40千円
実施日 12月3日	子ども達の創造力や感受性が養われ、父母・祖父母への感謝の心を育むことが出来た。	実施日 12月2日
場 所 芝富士公民館		場 所 芝富士公民館
参加者 14名		定 員 20名
決算額 52千円		予算額 90千円
実施日 12月10日	料理作りを通して作る楽しさを学び、家庭内でも手伝う心を養うことが出来た。	実施日 2月未定
場 所 芝富士公民館		場 所 芝富士公民館
参加者 16名		定 員 20名
決算額 25千円		予算額 40千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止	実施日 未定
場 所 ー		場 所 芝園公民館 講座室
参加者 ー		定 員 15名
決算額 0千円		予算額 5千円

担当	事業名	事業内容	対象者
芝園公民館	額縁パンづくり教室	額縁に絵を描いたようなパンづくり	小学生
芝園公民館	わくわくウォッチング	市内もしくは市外の施設等の見学・学習、市民レクリエーションへの参加	小学生
芝園公民館	親子工作教室	ものづくりを通して親子の絆を深めるもの	小学生
安行公民館	少年少女スポーツ大会	地域の子どもたちにスポーツに親しむ機会を与え、これを通じ健全な育成を図る。	地区内在中の子ども
安行公民館	夏休み子ども科学教室	夏休み期間中、小学生の子どもたちが科学の体験を通じて知識等を養う。	地区内在中の子ども

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止	実施日 未定
場 所 ー		場 所 芝園公民館 料理実習室
参加者 ー		定 員 15名
決算額 0千円		予算額 15千円
実施日 11月13日	集団で行動することにより社会経験を積み、知的好奇心の充足を促すことができた。	実施日 11月
場 所 むさしの村・埼玉県防災学習センター		場 所 未定
参加者 10名		定 員 30名
決算額 134千円		予算額 195千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止	実施日 12月
場 所 ー		場 所 芝園公民館 講座室
参加者 ー		定 員 8名(4組)
決算額 0千円		予算額 15千円
実施日 11月20日	地域の子どもたちにスポーツに親しむ機会を与え、交流を深めるとともに心身ともに健全な育成を図ることができた。	実施日 11月19日
場 所 安行スポーツセンター		場 所 安行スポーツセンター
参加者 30名		定 員 100名
決算額 12千円		予算額 40千円
実施日 8月2・3・4・5日	科学の面白さを体験し、子どもたち同士が共通の話題を通じて、交流を深めることができた。	実施日 8月2・3日
場 所 安行公民館 ホール		場 所 安行公民館 ホール
参加者 35名		定 員 25名
決算額 20千円		予算額 30千円

担当	事業名	事業内容	対象者
安行公民館	新春書初め展	地区内在住の児童・生徒の書道作品を展示する。	地区内在住の児童・生徒
安行公民館	冬休み子どもお菓子作り教室	市内在住の小学生・中学生を対象にクリスマスにちなんだお菓子作りを体験する。	地区内在住の児童・生徒
安行東公民館	夏休み親子映画会	夏休み親子映画会	地区在住の親子
安行東公民館	少年少女スポーツ大会	フットベースボール大会	地区在住の小学生
安行東公民館	子ども居場所づくり学習事業	児童を対象とした体験事業を行う。	地区在住の小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 1月17日～29日	小学校を卒業した児童が、中学生部門で多数参加があるなど、昨年以上に多くの作品鑑賞を、地域の方とともに楽しむことができた。	実施日 1月14日～28日
場 所 安行公民館エントランス		場 所 安行公民館エントランス
参加者 48名		定 員 60名
決算額 40千円		予算額 50千円
実施日 事業計画なし	令和5年度より実施。	実施日 12月23日
場 所 —		場 所 安行公民館料理実習室
参加者 —		定 員 20名
決算額 —		予算額 20千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。代わりに映画用のプロジェクタースクリーンを購入。	実施日 7月20日
場 所 —		場 所 安行東公民館 会議室
参加者 —		定 員 50名
決算額 120千円		予算額 110千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止及び、グラウンド照明改修工事のため事業中止。	実施日 11月19日
場 所 —		場 所 安行スポーツセンターグラウンド
参加者 —		定 員 100名
決算額 0千円		予算額 30千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 9月～2月
場 所 —		場 所 安行スポーツセンター体育館
参加者 —		定 員 200名
決算額 0千円		予算額 20千円

担当	事業名	事業内容	対象者
戸塚公民館	青少年和太鼓体験教室	伝統的な楽器である和太鼓に触れ、文化を知るとともに青少年の豊かな情操を養う。	小中学生
戸塚公民館	少年少女スポーツ大会(とづかソフトドッジ大会)	戸塚地区内の少年少女が、親しみ易いソフトドッジ大会への参加を通して、楽しみながら仲間づくりを広げることで、児童の健全育成を図る。 ※戸塚西公民館と合同開催	小学生
戸塚公民館	戸塚ふれあいコンサート	市内の中学校に出演してもらい、地域と学校の交流を図るとともに、青少年の情操を養う。	中学生及び一般
戸塚公民館	ウィンターこどもフェスティバル	戸塚地区内の青少年が中心になって、イベントを企画運営することにより、地域の活性化と共に、青少年が自主活動を行う体験・実践を行う。	小学生
戸塚公民館	彩の国21世紀郷土かるた戸塚地区大会	戸塚地区の青少年を一堂に会し「彩の国21世紀郷土かるた」の競技を通して仲間づくりを広げるとともに、埼玉県を理解し郷土愛を高めることを願い、青少年の健全な育成を図る。 ※戸塚西公民館と合同開催	小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 事業計画なし	令和5年度より実施	実施日 6月25日
場 所 ー		場 所 戸塚公民館
参加者 ー		定 員 25人
決算額 ー		予算額 14千円
実施日 7月17日	大会を通して、スポーツを楽しみながら仲間づくりを広げること、基礎体力の増進ができた。	実施日 7月16日
場 所 戸塚榎戸公園		場 所 戸塚榎戸公園
参加者 544名		定 員 550名
決算額 161千円		予算額 210千円
実施日 11月23日	楽器演奏及び音楽鑑賞を通して、青少年の情操育成の機会となった。	実施日 年2回(9・3月)
場 所 戸塚公民館		場 所 戸塚公民館
参加者 210名		定 員 各250名
決算額 28千円		予算額 50千円
実施日 12月11日	自主活動の体験を通して青少年の育成ができた。	実施日 12月10日
場 所 戸塚公民館		場 所 戸塚公民館
参加者 170名		定 員 200名
決算額 50千円		予算額 50千円
実施日 1月15日	競技を通して仲間づくりを広げるとともに、郷土愛を高め、参加者の健全育成を達成することができた。	実施日 1月14日
場 所 戸塚西公民館		場 所 戸塚西公民館
参加者 260名		定 員 500名
決算額 67千円		予算額 110千円

担当	事業名	事業内容	対象者
戸塚西公民館	戸塚地区少年少女とづかソフトドッジ大会	戸塚地区の少年少女が、親しみやすいソフトドッジ大会への参加を通して、楽しみながら仲間づくりを広げることで、児童の健全育成を図る。	小学生
戸塚西公民館	第39回彩の国21世紀 郷土かるた戸塚地区大会	戸塚地区の青少年を一堂に会し「彩の国21世紀郷土かるた」の競技を通して仲間づくりを広げるとともに、埼玉県を理解し郷土愛を高めることを願い、青少年の健全な育成を図る。	小学生
戸塚西公民館	ボランティア事業(旧子どもの居場所学習事業)	昔話の読み聞かせ、わらべ歌などを楽しむ。	幼児・小学生
戸塚西公民館	子どもパン作り教室	お互いに協力しながら、楽しくパンを作る。	小学生
戸塚西公民館	おもしろ科学体験教室	スライム、ICラジオやポンポン蒸気船を作成し、モノづくりの楽しさを体験させる。	小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 7月17日(日)	大会を通して、スポーツを楽しみながら仲間づくりを広げること、参加者の健全育成を達成することができた。	実施日 7月16日(日)
場 所 戸塚榎戸公園		場 所 戸塚榎戸公園
参加者 544名		定 員 300名
決算額 220千円		予算額 210千円
実施日 1月15日(日)	競技を通して仲間づくりを広げるとともに、郷土愛を高め、参加者の健全育成を達成することができた。	実施日 1月14日(日)
場 所 戸塚西公民館		場 所 戸塚西公民館
参加者 250名		定 員 1,000名
決算額 130千円		予算額 110千円
実施日 原則毎週水曜日	昔話の読み聞かせ、わらべ歌などを楽しむことから、かたりべの話に心を寄せる姿勢が育まれた。	実施日 原則毎週水曜日
場 所 戸塚西公民館		場 所 戸塚西公民館
参加者 941名		定 員 45名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止	実施日 8月8日(火)・9日(水)
場 所 ー		場 所 戸塚西公民館
参加者 ー		定 員 40名
決算額 0千円		予算額 880千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止	実施日 8月23日(水)
場 所 ー		場 所 戸塚西公民館
参加者 ー		定 員 30名
決算額 0千円		予算額 28千円

担当	事業名	事業内容	対象者
中央ふれあい館	親子お菓子作り教室	親子で協力しながらお菓子を作る。	小・中学生と保護者
中央ふれあい館	地区少年少女スポーツ大会	小学生中・高学年対象として、みんなでドッジボールを楽しむ。	小学3年生～6年生
中央ふれあい館	地区合同ラジオ体操の集い	地区の市民を対象に合同でラジオ体操をする。	地区市民
中央ふれあい館	夏休み子ども囲碁教室	夏休みに少年・少女に囲碁を学んでもらい、基本技術を習得してもらう。	概ね5歳～15歳までの子ども
中央ふれあい館	親子お菓子作り教室 Part2	親子で協力しながらお菓子を作る。	小・中学生と保護者

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 6月19日、7月3日	親子の共同作業でマドレーヌを作ることにより、ものを作ることへの関心を育むとともに、親子の触れ合いの機会となった。	実施日 10月15日、10月29日
場 所 中央ふれあい館		場 所 中央ふれあい館
参加者 23名		定 員 各回親子5組(20名)
決算額 41千円		予算額 40千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 7月9日
場 所 —		場 所 中央ふれあい館
参加者 —		定 員 80名
決算額 0千円		予算額 50千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 7月21日
場 所 —		場 所 本町小学校校庭
参加者 —		定 員 120名
決算額 0千円		予算額 1千円
実施日 7月27日～7月30日	囲碁を通じ、頭脳の発育と情操教育によい影響をもたらした。	実施日 7月26日～7月29日
場 所 中央ふれあい館		場 所 中央ふれあい館
参加者 27名		定 員 30名
決算額 4千円		予算額 4千円
実施日 10月16日・10月30日	親子の共同作業でサブレ(クッキー)を作ることにより、ものづくりの楽しさを体験するとともに、親子の触れ合いの機会を作った。	実施日 実施予定なし
場 所 中央ふれあい館		場 所 —
参加者 23名		定 員 —
決算額 41千円		予算額 —

担当	事業名	事業内容	対象者
中央ふれあい館	子どもスポーツひろば (卓球)	卓球を行うことにより、スポーツの楽しさを体感してもらう。	小学生
中央ふれあい館	子ども料理教室	小学生中・高学年を対象として、料理にチャレンジしてもらう。	小学3年生～6年生
鳩ヶ谷公民館	子ども科学教室	科学を取り入れた実験の見学や、工作への取り組みをとおして、楽しみながら科学の仕組みや不思議を学ぶ。地域の子供達の交流を図る場とする。	小学生
鳩ヶ谷公民館	子ども体験教室	小学生がその保護者とともにものづくりに取り組むことで、ものを作ることへの興味を育む。普段の遊びで使う際とは違う風船の取り扱い方法などを学ぶ。	小学生
鳩ヶ谷公民館	親子料理教室	小学生とその保護者が一緒に料理に取り組むことで、親子の触れ合いの場を提供する。	小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 11月27日・12月4日 令和5年1月8日・2月12日	卓球を通じてスポーツの楽しさを体感することができた。また、友達同士の交流の場にもなった。	実施日 11月19日、12月3日 令和6年1月7日、2月11日
場 所 中央ふれあい館		場 所 中央ふれあい館
参加者 37名		定 員 各回30名
決算額 4千円		予算額 4千円
実施日 12月17日	数種類の献立作りにチャレンジし、その美味しさを実感することで料理への関心が高まった。	実施日 12月16日
場 所 中央ふれあい館		場 所 中央ふれあい館
参加者 13名		定 員 15名
決算額 1千円		予算額 28千円
実施日 8月18日	偏光万華鏡づくりや、様々な科学の実験を体験し、科学の不思議さに興味を持つ機会となった。	実施日 令和5年度実施予定なし
場 所 ふれあいプラザさくら		場 所 —
参加者 39名		定 員 —
決算額 23千円		予算額 —
実施日 7月31日	普段の遊びで使う際とは違う風船の取り扱い方法を学び、興味、関心を持つだけでなく、自ら創造してものを作る機会となった。	実施日 令和5年度実施予定なし
場 所 ふれあいプラザさくら		場 所 —
参加者 42名		定 員 —
決算額 27千円		予算額 —
実施日 事業計画なし	令和5年度より実施	実施日 7月23日
場 所 —		場 所 鳩ヶ谷公民館
参加者 —		定 員 10組(20人)
決算額 —		予算額 50千円

担当	事業名	事業内容	対象者
鳩ヶ谷 公民館	子どもマジック講座	マジックの道具の制作や演じ方を学んだり、身近に実演を体験することで、興味、関心を育てる。同時に、地域の子供達との交流を図る場とする。	小学生
南鳩ヶ 谷公民 館	子ども卓球教室	子供たちの居場所事業として、地域の卓球競技活動団体が指導者となり、子供たちに卓球の楽しさや奥深さを体験してもらう。	南鳩ヶ谷公民館地区 在住の小学3年生から 6年生までの児童とそ の保護者
南鳩ヶ 谷公民 館	夏休み子ども工作教室 (小学校低学年)	夏休みに、ものづくりの楽しさを体験させる。	南鳩ヶ谷公民館地区 在住の小学低学年(1 年生から3年生まで) の児童
南鳩ヶ 谷公民 館	夏休み子ども工作教室 (小学校高学年)	夏休みに、ものづくりの楽しさを体験させる。	南鳩ヶ谷公民館地区 在住の小学高学年(4 年生から6年生まで) の児童
南鳩ヶ 谷公民 館	家族で楽しむ初めての バルーンアート教室	親子でのバルーンアートの製作をとおし、ものづくりの楽しさを体験させる。	南鳩ヶ谷公民館地区 在住の小学1年生から 6年生までの児童とそ の保護者のペア

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 事業計画なし	令和5年度より実施	実施日 8月9日
場 所 ー		場 所 鳩ヶ谷公民館
参加者 ー		定 員 40人(午前・午後各20人)
決算額 ー		予算額 60千円
実施日 4月～3月の第3日曜日(全12回)	児童の健やかな心身の発育と、指導者からの指導により生涯スポーツとしての卓球を地域で活性化することができた。	実施日 4月～3月の第3日曜日(全12回)
場 所 南鳩ヶ谷公民館ホール		場 所 南鳩ヶ谷公民館ホール
参加者 延べ47名		定 員 各回10名
決算額 24千円		予算額 36千円
実施日 7月30日	地域の子どもたちに、作品を作り上げるために自ら考え、創作する楽しさの場を提供することができた。	実施日 8月4日
場 所 南鳩ヶ谷公民館ホール		場 所 南鳩ヶ谷公民館
参加者 19名		定 員 10名
決算額 5千円		予算額 19千円
実施日 8月20日	地域の子どもたちに、作品を作り上げるために自ら考え、創作する楽しさの場を提供することができた。	実施日 8月2日
場 所 南鳩ヶ谷公民館ホール		場 所 南鳩ヶ谷公民館
参加者 14名		定 員 10名
決算額 11千円		予算額 19千円
実施日 9月11日	地域の子どもたちに、作品を作り上げるために自ら考え、また保護者の協力を得ながら共に作り上げるなどの創作する楽しさの場を提供することができた。	実施日 8月19日
場 所 南鳩ヶ谷公民館ホール		場 所 南鳩ヶ谷公民館ホール
参加者 20名		定 員 10名
決算額 7千円		予算額 15千円

担当	事業名	事業内容	対象者
南鳩ヶ谷公民館	子ども書初め教室	地域の知識経験者が指導者となり、子どもたちに書初めに関する技術の伝承と書に向き合う姿勢を学ばせる。	南鳩ヶ谷公民館地区在住の小学3年生から6年生までの児童
生涯学習プラザ	親子パン作り教室	親子で楽しみながらパンの作り方を学び、食品ロスについて関心をもつ。	市内在住の小学生とその保護者
生涯学習プラザ	親子料理教室	料理を通して親子の仲を深めるため、節目の際などに喜ばれるような料理を親子で作る。	市内在住の小学生とその保護者
文化財課	小・中学校歴史教室	わが国及び地域社会の歴史を中心に、昔の生活や文化、建造物等に対する愛着と誇りをもつとともに、社会科学習への興味・関心を高めるために、文化財資料を用いた体験学習を行う。	市内小・中学生
文化財課	社会科見学	社会科や総合的な学習の時間を中心に、各教科・領域の学習内容に応じて、文化財センター及び分館での見学や文化財資料を活用した学習を行い、郷土の歴史に興味をもてるようにするとともに、学習内容の補完・発展につなげる。	市内小・中学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 12月25日	日本の伝統文化の素晴らしさと書道の奥深さの理解が図られたとともに、講師の指導により納得のいく作品を上げることができた。	実施日 12月
場 所 南鳩ヶ谷公民館ホール・展示室		場 所 南鳩ヶ谷公民館ホール・展示室
参加者 20名		定 員 20名
決算額 13千円		予算額 21千円
実施日 11月19日	子どもが主体となり親子一緒にパンを作り上げることで子どもの自己肯定感と親子の絆が高められた。また、講師から食材を大切に使うことなど食品ロスについての話もあり、関心を持って聞く姿も見られた。	実施日 8月18日
場 所 料理実習室		場 所 生涯学習プラザ 料理実習室
参加者 22人		定 員 10組20人
決算額 28千円		予算額 28千円
実施日 3月11日	子どもが主体となり親子一緒に季節に合わせた日本料理を作り上げることで日本食の華やかさや素晴らしさについて親子で学んだ。	実施日 3月(予定)
場 所 料理実習室		場 所 生涯学習プラザ 料理実習室
参加者 12人		定 員 8組16人
決算額 20千円		予算額 28千円
実施日 5月11日～3月17日	実物資料等を活用し、体験的な歴史教室を行うことで、歴史学習と郷土の文化財に対する児童生徒の意欲を十分に高めることができた。	実施日 5月～3月
場 所 各学校郷土資料館 等		場 所 各学校・郷土資料館等
参加者 24,757名		定 員 —
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 6月15日～3月17日	多くの展示品を紹介し、実際に触れることで、郷土の歴史に関心をもつことができるようになった。また、教科書等の写真だけでは分からないことにも、実物資料に触れることを通して、気づかせることができた。	実施日 5月～3月
場 所 文化財センター、郷土資料館 歴史自然資料館		場 所 文化財センター、郷土資料館 歴史自然資料館
参加者 336名		定 員 —
決算額 0千円		予算額 0千円

担当	事業名	事業内容	対象者
文化財課	夏休み子ども体験教室	勾玉作り、竹釣り竿作り等の体験学習を実施する。	市内小・中学生及び保護者
中央図書館	おはなし会 (中央図書館) (芝北文庫)	ストーリーテリングや絵本の読み聞かせをとおして子どもと本の出会いの機会を設け、本に親しんでもらうとともに、図書館の利用につなげる。	幼児、小学生
中央図書館	わらべうたとえほんの会	わらべうたや手あそび、絵本の読み聞かせを親子で楽しんでもらい、本に親しんでもらうとともに、図書館の利用につなげる。	2・3歳の幼児とその保護者
中央図書館	みんなであそぼう！わらべうたとえほん	平日に開催されるわらべうたとえほんの会に参加することが難しい親子に、わらべうたや絵本によって子どもとコミュニケーションをとる楽しさを知ってもらうと共に、図書館に親しんでもらう。	2・3歳の幼児とその保護者
中央図書館	芝園分室おはなし会	ストーリーテリングや絵本の読み聞かせをとおして子どもと本の出会いの機会を設け、本に親しんでもらうとともに図書館の利用につなげる。	幼児、小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 8月11日～8月14日	勾玉について歴史などを解説後、実際に作る体験を通して、古代人の知恵や工夫に興味・関心をもたせることができた。また、竹釣り竿作りを通して、川口の伝統産業について理解を得ることができた。	実施日 8月11日～8月18日
場 所 文化財センター 郷土資料館		場 所 郷土資料館
参加者 71名		定 員 ー
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 ①毎週土曜日他(中央)、 ②第2・4金曜日他(芝北)	ストーリーテリングや絵本の読み聞かせを行うことにより、参加した子どもたちに本や物語の楽しさを知ってもらうことができ、図書館の利用促進につながった。	実施日 ①毎週土曜日他(中央)、 ②第2・4金曜日他(芝北)
場 所 ①中央図書館 ②芝北公民館		場 所 ①中央図書館 ②芝北公民館
参加者 ①545名 ②131名		定 員 ー
決算額 42千円		予算額 42千円
実施日 毎月第1・3火曜日	わらべうたや手あそび、絵本の読み聞かせを親子で楽しんでもらうことができ、図書館の利用促進につながった。	実施日 毎月第1・3火曜日
場 所 中央図書館		場 所 中央図書館
参加者 120名		定 員 ー
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 6月5日、11月13日	平日に開催されるわらべうたとえほんの会に参加することが難しい親子、わらべうたや手あそび、絵本の読み聞かせを通して親子で楽しんでもらうことができ、図書館の利用促進につながった。	実施日 6月4日、11月12日
場 所 中央図書館		場 所 中央図書館
参加者 20名		定 員 親子8組
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 7月21日、12月22日	定期のおはなし会がない芝園分室で、夏休みとクリスマスの時期に合わせたおはなし会をおこなうことにより、参加した子どもたちに本や物語の楽しさを知ってもらい、読書への興味につなげることができた。	実施日 7月21日
場 所 芝園分室		場 所 芝園分室
参加者 14名		定 員 ー
決算額 0千円		予算額 0千円

担当	事業名	事業内容	対象者
中央図書館	ブックトーク、出張おはなし会	図書館司書が、要望のあった学校に訪問し、ブックトーク(本の紹介)や、おはなし会を行い、児童・生徒の読書活動を推進する。	小学生・中学生
前川図書館	おはなし会	ストーリーテリングや絵本の読み聞かせをとおして子どもと本の出会いの機会を設け、本に親しんでもらうとともに、図書館の利用につなげる。	幼児、小学生
前川図書館	おさなごのおはなし会	わらべうたや手あそび、絵本の読み聞かせを親子で楽しんでもらい、本に親しんでもらうとともに、図書館の利用につなげる。	2歳から入園前の幼児とその保護者
新郷図書館	おはなし会	ストーリーテリングや絵本の読み聞かせをとおして子どもと本の出会いの機会を設け、本に親しんでもらうとともに、図書館の利用につなげる。	幼児、小学生
新郷図書館	絵本とわらべうたの会	わらべうたや手あそび、絵本の読み聞かせを親子で楽しんでもらい、本に親しんでもらうとともに、図書館の利用につなげる。	2・3歳の幼児とその保護者

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 11回	さまざまなジャンルの本を紹介することにより、子どもたちへの本の興味を喚起することができた。特に、図書館から遠い学校では、子どもたちが新たな本に触れる絶好の機会となった。	実施日 未定
場 所 市内小・中学校、芝園分室		場 所 未定
参加者 382名		定 員 —
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 毎週土曜日	ストーリーテリングを初めて聞くという子が多かったが、回を重ねるごとに物語の楽しさに目覚める子が少しずつ増え、本の貸出や図書館利用促進につながった。	実施日 毎週土曜日
場 所 前川図書館		場 所 前川図書館
参加者 356名		定 員 なし
決算額 112千円		予算額 100千円
実施日 毎月第1・3金曜日他	親子でわらべうたや絵本を楽しむことで、幼児の言葉の獲得や読書に親しむための第一歩につながった。	実施日 毎月第1・3金曜日およびいづれかの土曜日に4回
場 所 前川図書館		場 所 前川図書館
参加者 88名		定 員 なし
決算額 50千円		予算額 54千円
実施日 毎月第1～4土曜日他	感染予防対策をした上で実施した。参加した子どもたちに本や物語の楽しさを知ってもらうことができ、図書館の利用促進につながった。	実施日 毎月第1～4土曜日他
場 所 新郷図書館		場 所 新郷図書館
参加者 162名		定 員 なし
決算額 94千円		予算額 98千円
実施日 毎月第2・4金曜日	感染予防対策をした上で実施した。参加した親子にわらべうたや手遊び、絵本の楽しさを知ってもらうことができ、図書館の利用促進につながった。	実施日 毎月第2・4金曜日
場 所 新郷図書館		場 所 新郷図書館
参加者 58名		定 員 なし
決算額 42千円		予算額 42千円

担当	事業名	事業内容	対象者
横曽根図書館	おはなし会	ストーリーテリングや絵本の読み聞かせをとおして子どもと本の出会いの機会を設け、本に親しんでもらうとともに、図書館の利用につなげる。	幼児、小学生
横曽根図書館	わらべうたであそぼう	わらべうたや手あそび、絵本の読み聞かせを親子で楽しんでもらい、本に親しんでもらうとともに、図書館の利用につなげる。	1歳から入園前の幼児とその保護者
戸塚図書館	おはなし会	ストーリーテリングや絵本の読み聞かせをとおして子どもと本の出会いの機会を設け、本に親しんでもらうとともに、図書館の利用につなげる。	幼児、小学生
戸塚図書館	絵本とわらべうたの会	わらべうたや手あそび、絵本の読み聞かせを親子で楽しんでもらい、本に親しんでもらうとともに、図書館の利用につなげる。	1歳半から入園前の幼児とその保護者
鳩ヶ谷図書館	おはなし会	ストーリーテリングや絵本の読み聞かせを通して子どもと本の出会いの機会を設け、本に親しんでもらうとともに、図書館の利用につなげる。	幼児、小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 毎週土曜日	感染予防対策をした上で、定例おはなし会・夏休みおはなし会・クリスマスおはなし会を実施。参加した子どもたちに本や物語の楽しさを知ってもらうことができ、図書館の利用促進につながった。	実施日 毎週土曜日
場 所 横曽根図書館		場 所 横曽根図書館
参加者 241名		定 員 なし
決算額 98千円		予算額 106千円
実施日 毎週第3水曜日	感染予防対策をした上で実施。参加した親子にわらべうたや手遊び、絵本の楽しさを知ってもらうことができ、図書館の利用促進につながった。	実施日 毎週第3水曜日
場 所 横曽根図書館		場 所 横曽根図書館
参加者 27名		定 員 なし
決算額 24千円		予算額 24千円
実施日 毎週土曜日他	感染予防対策をした上で実施した。参加した子どもたちに本や物語の楽しさを知ってもらうことができ、図書館の利用促進につながった。	実施日 毎週土曜日他
場 所 戸塚図書館		場 所 戸塚図書館
参加者 531名		定 員 なし
決算額 102千円		予算額 108千円
実施日 毎月第2・4木曜日	感染予防対策をした上で実施した。わらべうたや手遊びを親子で楽しみ、絵本の読み聞かせを行うことにより、本に親しみ、図書館利用促進につなげることができた。	実施日 毎月第2・4木曜日
場 所 戸塚図書館		場 所 戸塚図書館
参加者 218名		定 員 なし
決算額 38千円		予算額 46千円
実施日 毎週土曜日他	ストーリーテリングや絵本の読み聞かせを行うことにより、参加した子どもたちに本や物語の楽しさを知ってもらうことができ、図書館の利用促進につながった。	実施日 毎週土曜日他
場 所 鳩ヶ谷図書館		場 所 鳩ヶ谷図書館
参加者 214名		定 員 なし
決算額 0千円		予算額 0千円

担当	事業名	事業内容	対象者
鳩ヶ谷図書館	おはなしじゅうたん	わらべうたや手あそび、絵本の読み聞かせを親子で楽しんでもらい、本に親しんでもらうとともに、図書館の利用につなげる。	2歳以上の幼児とその保護者
鳩ヶ谷図書館	おやこで楽しむわらべうた	コロナ禍の中、開催できなかった「おはなしじゅうたん」の参加機会を逸した子どもと保護者に対して改めてわらべうたに接する機会を与える。	1歳以上の幼児とその保護者
科学館	プラネタリウム学習投影	プラネタリウムを利用した天文学習を行う。市内小学校では、年間指導計画に位置付けられている。	市内全小学4年生・中学生(希望制)・高校生
科学館	科学展示室学習利用	科学への興味関心を持たせるために、科学展示室体験、ミニ実験ショーや科学ものづくり教室を行う。	小学生・中学生
科学館	プラネタリウム一般投影	今夜の星空及び天文の話題等生解説と番組をあわせた投影を行う。	小学校高学年以上

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 第2・4木曜日	わらべうたや手あそび、絵本の読み聞かせを通して、親子で楽しんでもらうことができ、図書館の利用促進につながった。	実施日 第2・4木曜日
場 所 鳩ヶ谷図書館		場 所 鳩ヶ谷図書館
参加者 47名		定 員 なし
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 10/23、11/20、1/22	日曜日に開催したことにより平日利用することができない親子の参加があり、わらべうたや手あそびを通して、親子で楽しんでもらうことができ、図書館の利用促進につながった。	実施日 未定
場 所 鳩ヶ谷図書館		場 所 鳩ヶ谷図書館
参加者 57名		定 員 未定
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 学習利用に指定した日	実際の空での観察学習は、時間帯や天候に左右され困難な部分があるが、プラネタリウムでの疑似体験により、児童生徒の興味や理解を深め学力向上ができた。	実施日 学習利用に指定した日
場 所 科学館		場 所 科学館
参加者 5,829名		定 員 160名/回
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 学習利用に指定した日	利用する学年の学習指導要領に沿ったミニ実験ショーや科学ものづくりを提供することで、学習効果が高まり、理解が深まった。	実施日 学習利用に指定した日
場 所 科学館		場 所 科学館
参加者 13,839名		定 員 120名/回
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 木・土・日曜日・祝日と学校の春・夏・冬休み期間の平日	日常では、見るのが難しい星空について、プラネタリウムでの疑似体験を通じて、星の動きや天文現象等について解説することで宇宙や天文について興味関心を高めることができた。	実施日 木・土・日曜日・祝日と学校の春・夏・冬休み期間の平日
場 所 科学館		場 所 科学館
参加者 24,418名		定 員 160名/回
決算額 14,215千円		予算額 14,490千円

担当	事業名	事業内容	対象者
科学館	プラネタリウムキッズアワー	テーマに沿った子ども向けのわかりやすい星空解説中心の投影を行う。	小学校低学年以上
科学館	サイエンスショー	身近に起こる現象を科学的な原理を交えながら考える実験ショーを開催する。	未就学児・児童生徒とその保護者
科学館	わくわくワーク	身の回りにある素材を使った簡単なものづくり教室を開催する。	未就学児・児童生徒とその保護者
科学館	どきどきサイエンス	テーマのあるものづくり・観察・実験などを行う教室を開催する。	未就学児・児童生徒とその保護者
科学館	にこにこ実験室	実験器具の操作を学びながら、親子で科学の謎を解明する実験教室を開催する。	小学生～高校生までとその保護者

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 日曜日・祝日	宇宙や天文に親しみやすいテーマを設定することで、プラネタリウムでの疑似体験を通じて身近な天体現象への興味関心を高めることができた。	実施日 日曜日・祝日と学校の春・夏・冬休み期間の平日
場 所 科学館		場 所 科学館
参加者 2,522名		定 員 160名/回
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 日曜日・祝日	来館者の科学的な知識を高め、演示や説明を通じて、科学に対する関心を深めることができた。	実施日 日曜日・祝日
場 所 科学館		場 所 科学館
参加者 5,069名		定 員 ー
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 土曜日と学校の春・夏・冬休み期間の火・木曜日	簡単なものづくりの中にある科学的な要素を知り、興味関心を高めることができた。	実施日 土曜日と学校の春・夏・冬休み期間の火・木曜日
場 所 科学館		場 所 科学館
参加者 4,663名		定 員 40人/回
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 日曜日・祝日と学校の春・夏・冬休み期間の水・金曜日	観察や実験を通して、自らの手で行うことの大切さや面白さを体感することができた。	実施日 日曜日・祝日と学校の春・夏・冬休み期間の水・金曜日
場 所 科学館		場 所 科学館
参加者 3,233名		定 員 20人/回
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 日曜日ただし特別イベント期間を除く	親子での会話の中から、科学的な関心が高まり、科学による話題づくりや共通体験によって科学の面白さを体感することができた。	実施日 日曜日ただし特別イベント期間を除く
場 所 科学館		場 所 科学館
参加者 283名		定 員 8組/回
決算額 0千円		予算額 0千円

担当	事業名	事業内容	対象者
科学館	夏休み科学教室	講座ごとに、それぞれのテーマに沿った観察・実験を行い、自ら考えながら探求する心を育てていく特別事業を開催する。	小学生
科学館	科学ものづくり教室	ロボット製作を通して、電気工作の知識や技術を身につけるとともに、科学に関する興味関心を高める講座を開催する。	小学生以上の児童生徒
科学館	サイエンスクラブ	小学4年生～6年生を対象に、科学に触れ、楽しみながら学ぶことができる講座を開催する。	小学4年生～6年生
科学館	科学出張教室	市のイベントや希望した幼稚園・保育所、学校を訪れ、実験の演示や科学ものづくりの指導を行う。	未就学児・児童生徒とその保護者
科学館	理科移動教室	科学館で学習指導要領に沿った学習や教材教具の提供を行う。	小学生・中学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 夏休み期間の8日間	テーマに沿った観察・実験を通して探求心を育てることにより、理科好きな児童を増やすことができた。	実施日 夏休み期間の8日間
場 所 科学館		場 所 科学館
参加者 223名		定 員 各講座による
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 年間の指定日(11日間)	興味関心だけでなく、技能を学ぶことにより、電気工作を通じて様々なものの仕組みを知ろうとする探求心を高めることができた。	実施日 年間の指定日
場 所 科学館		場 所 科学館
参加者 941名		定 員 各講座による
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 6日間	連続講座とすることで、より深く科学に触れ、科学的な好奇心を高めることができた。	実施日 2期開催(1期につき3日間)
場 所 科学館		場 所 科学館
参加者 58名		定 員 各期30人
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 学校等からの申請により実施(25回)	科学の面白さを驚きをもって体感することができた。	実施日 学校等からの申請により実施
場 所 学校等		場 所 学校等
参加者 5,126名		定 員 ー
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 学校等からの申請により実施(2回)	科学館施設・備品等を用い、学びを深め探求的な学習の機会を提供することができた。	実施日 各学校からの申請により実施
場 所 科学館		場 所 科学館
参加者 190名		定 員 ー
決算額 0千円		予算額 0千円

担当	事業名	事業内容	対象者
科学館	講師派遣	職員が学校を訪れ、理科学習の支援や指導助言を行う。	小学生・中学生
科学館	チャレンジサイエンス	適応指導教室に通う児童生徒に、観察・実験を行う。	適応指導教室に通う児童生徒
科学館	天文台夜間観測会	その時々、月・惑星や星雲・星団などを観測する。	中学生以下は保護者同伴
科学館	太陽観測実習	実際の観測機材を使った分光観測や黒点スケッチを行う。	高校生以上
科学館	太陽観測出張授業	特殊フィルター付き望遠鏡での太陽表面の様子を観測及び解説を行う。	市内小学6年生・中学3年生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 各学校からの申請により実施(8回)	科学の面白さを伝えると共に、実際に操作する活動を取り入れることにより、より児童の興味関心を高めることができた。	実施日 各学校からの申請により実施
場 所 各学校		場 所 各学校
参加者 613名		定 員 ー
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 年間の指定日(8回)	普段適応指導教室では体験することのできない装置や器具を持参することで、教科書からだけでは学ぶことのできない体験をすることができた。	実施日 年間の指定日(8回)
場 所 教育研究所または科学館		場 所 教育研究所または科学館
参加者 164名		定 員 ー
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 11回	天文台の望遠鏡を使用して、普段肉眼では見ることができない天体の様子を実際に観察することで、天文について興味と理解を深め、知識向上を図ることができた。	実施日 晴天時、第2、4土曜日
場 所 科学館		場 所 科学館
参加者 413名		定 員 20人程度
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 2回	天文台の望遠鏡を使用し黒点スケッチや分光観測を実際に体験することで、天文について理解を深め、知識向上を図ることができた。	実施日 8月2回予定
場 所 科学館		場 所 科学館
参加者 10名		定 員 各回5名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 各学校からの申請により実施(5回)	望遠鏡を使用し実際に観測を体験をすることで、天体について興味関心を高め、教育普及を図ることができた。	実施日 各学校からの申請により実施
場 所 各学校・公民館他		場 所 各学校・公民館他
参加者 300名		定 員 各回50人程度
決算額 0千円		予算額 0千円

担当	事業名	事業内容	対象者
科学館	夜間出張観望会	学校等に出張して夜間の天体観望会を行う。	児童・生徒と関係者
科学館	夏休みこども天文教室	小・中学生の星や宇宙への興味関心を高め、夏休みの天文学習や実天での星の観察のきっかけとする。	小学3年生～中学生
スポーツ課	少年少女ふれあいなわとび大会	なわとびを通じて体力の向上を図り、親子及び友達同士のふれあいを深め、豊かな心を養う。	市内小学生
スポーツ課	少年少女グラウンドゴルフ体験講習会	楽しみながら団体行動において、ルールを守ることを学ぶとともに、レクリエーションを通して豊かな心を養う。	市内小学3年生以上
スポーツ課	少年少女スポーツ大会(柔道・剣道)	少年少女の健全育成及び体力向上。	小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 各学校等からの申請により実施(2回)	望遠鏡を使用し実際に夜間観測を体験をすることで、天体や宇宙について興味関心を高め、教育普及を図ることができた。	実施日 各学校等からの申請により実施
場 所 各学校・公民館他		場 所 各学校・公民館他
参加者 103名		定 員 各回50人程度
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 2回	天文台の望遠鏡で天体を観察する体験やプラネタリウムでの学習を通して、実際に観測を体験をすることで、天体や宇宙について興味関心を高め、教育普及を図ることができた。	実施日 7・8月3回予定
場 所 科学館		場 所 科学館
参加者 36名		定 員 各回20人程度
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 ①10月24日～11月22日 ②2月3日～3月3日	なわとびを通して粘り強く物事に対して取り組む姿勢を養った。 令和4年度は通信制で開催。 実施日は記録報告書の申請期間を記載。	実施日 ①11月11日 ②3月2日
場 所 ①②各小学校		場 所 ①②芝スポーツセンター
参加者 ①10,175人 ②12,857人		定 員 ー
決算額 143千円		予算額 205千円
実施日 ①6月11日 雨天中止 ②6月18日	グラウンドゴルフを体験することにより、楽しみながら団体行動においてルールを学ぶとともに、レクリエーションを通じて豊かな心を養った。	実施日 ①5月27日 ②6月17日
場 所 対象小学校2校		場 所 対象小学校2校
参加者 ①0人 ②22人		定 員 ①②各50人
決算額 0円		予算額 0円
実施日 ①柔道 4月10日 中止 ②剣道 7月3日	武道を通じて礼儀作法を学ぶとともに、勝敗を受け入れる姿勢が育成された。	実施日 ①柔道 4月9日 ②剣道 7月2日
場 所 ①②体育武道センター		場 所 ①②体育武道センター
参加者 ①柔道 0人 ②剣道 207人		定 員 ー
決算額 35千円		予算額 101千円

担当	事業名	事業内容	対象者
予防課	少年少女消防体験教室	消防訓練など消防の仕事を体験することにより、防火防災に関する知識と心構えを学ぶとともに、参加者が体験教室で学んだことを家族と話すことによって、家庭から防火防災意識の向上を図る。	市内在住の小学5・6年生
選挙管理委員会事務局	選挙出前講座	市及び埼玉県選挙管理委員会が市内の学校へ伺い、選挙に関するミニ講座や模擬投票を行い、選挙の意義や重要性などの理解を深めることを目的とする。	市内の学校に通う小・中・高校生
選挙管理委員会事務局	中・高校生選挙事務体験事業	近く新有権者となる市内中・高校生を対象に、選挙事務体験を通じて、選挙への関心を深めてもらうことを目的とする。 記念品として中学生には文房具、高校生には図書カードを贈呈。	市内の学校に通う中・高校生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 10月1日	19名の参加者とその保護者に対し、消火器の取扱いや地震体験など防火防災教育とともに、命を救うために必要な救命講習を行なった。この経験を通しAEDの必要性と絶え間なく胸骨を押し続ける大変さを伝えることができた。	実施日 9月2日
場 所 消防局等		場 所 消防局等
参加者 19名		定 員 50名
決算額 4千円		予算額 9千円
実施日 5回	実施前アンケートに比べ、実施後アンケートでは選挙に関心を持つ生徒が多くみられた	実施日 各学校からの依頼により実施予定
場 所 各学校		場 所 各学校
参加者 1,218名		目 標 1,000名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 令和4年7月10日	選挙の事務体験を通して、投票所の雰囲気などを感じてもらい選挙への関心をより深めてもらった。	4月9日 実施日 4月23日 8月6日
場 所 各投票所		場 所 各投票所
参加者 63名		目 標 300名
決算額 354千円		予算額 1,800千円

②団体活動

担当	事業名	事業内容	対象者
青少年対策室	明るい街づくり運動推進大会	青少年の健全育成に功労のあった団体、個人及び善行のあった青少年の表彰を行うとともに青少年健全育成に向けて大会宣言並びに記念講演等を行う。	市民
青少年対策室	青少年指導者養成講習会	青少年の健全な育成に必要とされる体験活動において運営。指導にあたる次代を担うリーダー(青年リーダー)を養成し、地域における青少年活動の活性化や新たな人材の確保につなげる。	18歳～35歳の市民
危機管理課	中学生対象 防災リーダー認定講習	「災害に強いまちづくり」の一環である川口市防災リーダーの育成において、地域における災害時の初動対応の担い手として期待される中学生に対し、認定講習を実施する。	市内中学生
交通安全対策課	交通安全モデル推進小学校	行政・警察・交通安全協会・教育委員会が連携して、児童を対象に交通安全知識の普及と交通安全意識の高揚を図る。	川口・武南警察署管内の各小学校1校

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 3月4日	青少年の非行防止と健全育成のより一層の推進が図られた。	実施日 3月9日
場 所 川口総合文化センター リリア 音楽ホール		場 所 川口市民ホールフレンジア
参加者 270名		定 員 400名
決算額 1,177千円		予算額 1,421千円
実施日 10月15日	青年リーダーである青少年相談員として8名が新たに委嘱を受け活動している。	実施日 未定
場 所 上青木公民館		場 所 未定
参加者 10名		定 員 未定
決算額 3千円		予算額 31千円
実施日 8月から10月まで	防災に関する知識や技術を身につけるとともに、防災について興味を持たせることで、地域防災力の向上に貢献できる人材の養成に繋がっている。	実施日 未定
場 所 市内4中学校敷地内 (鳩ヶ谷、芝、安行、安行東)		場 所 未定
参加者 合計474名		定員 未定
決算額 0千円		予算額 未定
実施日 通年	児童の交通安全知識の普及と交通安全意識の高揚が図られた。	実施日 通年
場 所 各学校		場 所 各学校
参加者 2校		定 員 2校
決算額 0千円		予算額 0千円

担当	事業名	事業内容	対象者
環境総務課	こどもエコクラブ	環境省では、平成7年度から「こどもエコクラブ」事業を通じて、子どもたちが地域の中で主体的に環境学習や実践活動ができるよう支援しており、本市(コーディネーター)においてもエコクラブの登録、会員手帳・ニュース等の配布及び情報提供等の支援活動を行っている。	登録団体及び登録者
神根西公民館	青少年健全育成研修会	家庭や地域が一体となって青少年の健全育成に対して理解を深め、家庭の教育力向上及び青少年育成委員の意識向上を図る。	ブロック内青少年育成委員
芝園公民館	芝園公民館地区文化祭	実行委員会が主催する芝園公民館地区文化祭実行委員会に青少年育成事業の一環として協力・助成する	小学生
中央図書館	読み聞かせボランティア初級講座	読書支援事業として、市内において子どもへの読み聞かせを実施する方へ指導をおこなうことによりそのよりよい活動を促進する。(読み聞かせボランティア初級講座と中級講座は隔年で交互に実施)	市内小学校等で読み聞かせボランティア活動をおこなっている方

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 通年	子どもたちが地域の中で行う環境学習等が促進された。	実施日 通年
場 所 市内各所		場 所 市内各所
参加者 1,021名		定員 なし
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 未定
場 所 ー		場 所 神根西公民館
参加者 ー		定員 ー
決算額 0千円		予算額 2千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止	実施日 11月11日・12日
場 所 ー		場 所 芝園公民館・芝園団地広場
参加者 ー		定員 ー
決算額 0千円		予算額 10千円
実施日 ①10月25日、11月8日、15日 ②11月10日、24日、12月1日	市内小学校で活躍する読み聞かせボランティアの方々に、講義や実習指導をとおして、読み聞かせについての知識や技術を習得してもらうことができた。	実施日 未定
場 所 ①前川図書館 ②中央図書館		場 所 中央図書館
参加者 58名		定員 未定
決算額 150千円		予算額 150千円

担当	事業名	事業内容	対象者
救急課	「ジュニア救命士」救命講習会の開催	夏休みを利用し、一般公募による普通救命講習を実施する。	市内在住・在学の6年生と中学生
救急課	児童に対する救命入門コースの開催	市内小学校へ職員を派遣し、5・6年生の児童を対象に応急手当の重要性を解説。胸骨圧迫及びAED取扱いの実技指導を通じて「命の大切さ」について、認識してもらう。	市内在学の5・6年生
救急課	生徒に対する普通救命講習及び救命入門コースの開催	市内中学校へ職員を派遣し、学年単位や部活動をしている生徒に対して、応急手当の重要性を解説。胸骨圧迫及びAED取扱いの実技指導を通じて「命の大切さ」について、認識してもらう。	市内在学の中学校

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 8月19日、 8月22日～25日	応急手当の重要性を理解し、胸骨圧迫及びAEDの取扱いを実施したことで、「命の大切さ」を認識できた。	実施日 8月1日から8月2日 8月21日から8月23日
場 所 川口市消防局 屋内訓練室		場 所 川口市消防局 屋内訓練室
参加者 187名		定員 400名(10回開催)
決算額 47千円		予算額 100千円
実施日 通年	応急手当の重要性を理解し、胸骨圧迫及びAEDの取扱いを実施したことで、「命の大切さ」を認識できた。	実施日 通年
場 所 各小学校		場 所 各小学校
参加者 5・6年生 333名		定員 —
決算額 84千円		予算額 84千円
実施日 通年	応急手当の重要性を理解し、胸骨圧迫及びAEDの取扱いを実施したことで、「命の大切さ」を認識できた。	実施日 通年
場 所 各中学校		場 所 各中学校
参加者 生徒 353名		定員 —
決算額 89千円		予算額 89千円

③啓発活動

担当	事業名	事業内容	対象者
青少年対策室	愛のひと声・あいさつ運動	青少年育成委員会を中心に日常生活の中で地域の青少年に声かけを行い、非行防止、事故防止を図る。特に7月1日～8月31日の夏休み中を強調期間として取り組む。	市内の青少年
青少年対策室	①非行防止キャンペーン ②非行防止キャンペーン「講演会」	青少年育成委員会、青少年関係団体による駅頭での啓発物の配布等で、青少年の非行防止についての市民の意識を高める。 また、行政及び関係団体等が相互に県警・協力し青少年の非行と健全育成の一層の推進を図る。	市民
青少年対策室	おかめ市街頭補導	毎年12月に行われる川口神社・鳩ヶ谷氷川神社のおかめ市及び飯塚氷川神社のくまで市にて、青少年育成委員会等が青少年の補導及び事故防止にあたる。	青少年
危機管理課	親子防災教室	オンライン上での謎解き及びワークブックを通して、親子で楽しみながら防災に関する知識等が学べる防災イベントを実施する。	川口市内在学者 川口市内在住者 川口市内在勤者

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 通年	青少年の非行防止と健全育成のより一層の推進が図られた。	実施日 通年
場 所 市内全域		場 所 市内全域
参加者 のべ81,795人		目 標 実施団体の割合増
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 ①7月7日、11月1日 ②11月8日	青少年の非行防止と健全育成のより一層の推進が図られた。	実施日 ①7月20日、11月7日 ②12月20日
場 所 ①川口駅頭、東川口駅頭 ②鳩ヶ谷駅市民センター		場 所 ①川口駅頭、東川口駅頭 ②青木会館
参加者 ①120人、38人 ②51人		目 標 実施団体の割合増
決算額 62千円		予算額 72千円
実施日 12月25日	新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮して、おかめ市・熊手市の事業規模が縮小されたことに伴い、青少年の外出も減少するものと判断して、補導本部の設置を見合わせた。	実施日 ①12月15日 ②12月19日 ③12月24日
場 所 鳩ヶ谷氷川神社		場 所 ①川口神社 ②飯塚氷川神社 ③鳩ヶ谷氷川神社
参加者 —		目 標 参加者数の増
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 7月25日	イベントを通じて、自宅での防災対策を考え直し、自助の在り方を家族で話し合うきっかけに繋がっている。	実施日 8月27日
場 所 オンラインにて開催		場 所 オンラインにて開催
参加者 30名		目 標 100名
決算額 495千円		予算額 550千円

担当	事業名	事業内容	対象者
協働推進課	男女共同参画啓発誌の発行	男女共同参画についての啓発を促すため、幼児向け、中学生向けに冊子を作成し、市内の保育所・保育園、幼稚園、中学校を通じて配布。	市内の保育所・保育園・幼稚園の5歳児 市内の中学校の1年生
協働推進課	男女共同参画啓発付箋の配布	デートDVについての啓発を促すため、高校生向けに付箋を作成し、市立高校を通じて配布。（※令和4年度から）	川口市立高等学校の1年生
協働推進課	青少年ボランティア啓発ポスター事業（青少年ボランティア育成事業）	ボランティアに対する関心を高めることを目的とした普及・啓発用ポスター図案を募集。最優秀作品はボランティア見本市のポスター図案として使用。	小学生、中学生
協働推進課	ボランティアポイント制度（青少年ボランティア育成事業）	川口市青少年ボランティア育成委員会で対象とするボランティア活動体験1時間につき1ポイントを付与し、10ポイント毎にグリーンセンター無料招待券、20ポイント毎に認定書とプラネタリウム無料観覧券を授与。	小学生から高校生まで

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 7月下旬配布	男女共同参画について、幼児や生徒及びその保護者にもわかりやすく啓発することができた。	実施日 9月中旬配布
場 所 市内幼稚園・保育所・保育園・市内中学校に配布		場 所 市内幼稚園・保育所・保育園・市内中学校に配布
参加者 幼児向け:5,400部 中学生向け:5,300部		目標 幼児向け:5,700部 中学生向け:5,100部
決算額 530千円		予算額 594千円
実施日 5月下旬配布	デートDVについて、生徒及びその保護者にもわかりやすく啓発することができた。	実施日 7月下旬配布
場 所 川口市立高等学校		場 所 川口市立高等学校
参加者 1年生:1000部		目標 1年生:1000部
決算額 80千円		予算額 76千円
実施日 募集5月 表彰式10月1日 展示11月～1月	応募対象である小中学生に加え、最優秀賞をボランティア見本市ポスターに採用し、表彰式を行うことで一般にもボランティアの啓発を行うことができた。	実施日 募集5月 表彰式10月7日 展示12月～1月
場 所 -		場 所 -
応募者 88名		目標 100名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 通年	ボランティアの体験時間の累積が目に見えるため、青少年のボランティアへの意欲向上に繋がった。	実施日 通年
場 所 かわぐち市民パートナーステーション他		場 所 かわぐち市民パートナーステーション他
ポイント 3,341ポイント		目標 3,500ポイント
決算額 0千円		予算額 0千円

担当	事業名	事業内容	対象者
協働推進課	青少年ボランティア育成委員会ピンバッジの配布 (青少年ボランティア育成事業)	青少年のボランティアに対する関心を高め、活動を促進すること及び川口市青少年ボランティア育成委員会の事業の周知・動機づけのために、啓発グッズとしてピンバッジを条件に応じて配布。	小学生から概ね25歳までの青少年及び川口市青少年ボランティア育成委員、協力先施設等
交通安全対策課	交通安全壁新聞	季節ごとの交通安全運動に合わせて、手作りの壁新聞を発行し、市内の保育所や幼稚園(親子だより)、小学校(交通安全だより)、中学校・高等学校(交通安全ニュース)に配付している。	市内の保育所、幼稚園及び小・中・高等学校の幼児・児童・生徒
福祉総務課	社会を明るくする運動	青少年の非行防止と罪を犯した人たちの更生についての理解を深め、それぞれの立場において力を合わせて犯罪や非行のない明るい社会を築くための啓発運動である。	青少年関係者、学校・PTA関係者、一般市民
福祉総務課	川口市社会福祉大会	社会福祉功労者の表彰及び地域福祉実践者の活動発表や金婚、ダイヤモンド婚、プラチナ婚を迎えられたご夫妻のお祝いをし、「思いやり、いたわりあい、助けあい」の福祉の心を育む。	受賞者等関係者、一般市民

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 通年	ボランティア体験事業の参加者や青少年ボランティア啓発ポスターの応募者に配布することで、事業周知や参加意欲向上、ボランティアの啓発を実施した。	実施日 通年
場 所 かわぐち市民パートナーステーション他		場 所 かわぐち市民パートナーステーション他
参加者 859個		目標 1,000個
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 春、夏、秋、冬の年4回	幼児の保護者、児童、生徒の交通安全に対する関心と意識の高揚が図られ、交通事故の抑止に繋がった。	実施日 春、夏、秋、冬の年4回
場 所 各施設及び各学校		場 所 各施設及び各学校
配付数 6,792枚		配付数 6,792枚
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 7月12日	新型コロナ対策による入場制限を行ったが、青少年・学校関係者等との連携強化を図ることができた。	実施日 7月18日
場 所 リリア音楽ホール		場 所 リリア音楽ホール
参加者 260名		目標 600名
決算額 4,368千円		予算額 4,356千円
実施日 10月22日	メイン事業である社会福祉大会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を講じたうえで、通常に近い規模で開催することができた。また、金婚・ダイヤモンド婚に係る賀詞贈呈事業等の実施を通じて、市民の福祉の心を育むことができた。	実施日 10月21日
場 所 リリア(メインホール)		場 所 リリア(メインホール)
参加者 790名		目標 1,300名
決算額 5,097千円		予算額 5,398千円

担当	事業名	事業内容	対象者
福祉総務課	川口市福祉の日デザイン画募集事業	デザイン画をとおして市民一人ひとりがそれぞれの立場で福祉の心を育て、思いやりで支えあう福祉のまちづくりの推進を図る。	市内在住・在勤の方 (小学生以上)
福祉総務課	福祉啓発標語募集事業	デザイン画をとおして市民一人ひとりがそれぞれの立場で福祉の心を育て、思いやりで支えあう福祉のまちづくりの推進を図る。	市内在住・在勤の方 (小学生以上)
生活衛生課	いのちの教室	動物愛護に係る精神の醸成に資する各種活動	市内の小学生
自然保護対策課	川口いきもの通信の発行	生物多様性の保全についての啓発を促すため、小学生向けのチラシを作成し、市内の小学校・自然保護団体・公民館・各支所・図書館等を通じて配布。	主に小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 4月1日～6月17日	多くの生徒・児童に参加していただくことで、青少年の福祉の心を育むことができた。	実施日 4月3日～6月16日
場 所 ー		場 所 ー
参加者 1,462名		目標 1,500名
決算額 407千円		予算額 564千円
実施日 4月1日～6月17日	多くの生徒・児童に参加していただくことで、青少年の福祉の心を育むことができた。	実施日 ー
場 所 ー		場 所 ー
参加者 1,314名		目標 ー
決算額 331千円		予算額 ー
実施日 なし	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止	実施日 未定
場 所 市内小学校		場 所 未定
参加者 0名		目標 なし
決算額 0千円		予算額 40千円
実施日 年間3回配布(7月、12月、2月)	自然保護団体の取り組みや生物多様性への興味・関心を持つきっかけとなり、また、理解を深めてもらうための啓発を行うことができた。	実施日 年間3回配布(7月、11月、2月)
場 所 市内小学校・自然保護団体・公民館等に配布		場 所 市内小学校・自然保護団体・公民館等に配布
参加者 小学生向け:99,000部		目標 小学生向け:102,000部
決算額 721千円		予算額 806千円

担当	事業名	事業内容	対象者
上下水道総務課	水道ポスターコンクール	水道に関するポスターを募集し、優秀者には表彰を行う。また入賞作品を広報誌で紹介するとともに、展示会を開催する。	市内小学4年生
幸栄公民館	青少年非行防止キャンペーン	地域社会で声を掛け合い、青少年を非行から守る。	市民
幸栄公民館	愛のひと声・あいさつ運動	「地域の子どもは地域で守り育てる」のスローガンのもとに青少年を非行から守る。	青少年
幸栄公民館	おかめ市街頭補導	祭りの中で、青少年健全育成の指導を行う。	青少年

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 募集:4～5月 展示会:8～9月	子どもたちに水の大切さを理解してもらうとともに、その作品を一般に紹介することにより、市民の水道事業に対する理解と協力を得る。	実施日 募集:4～5月 表彰式:7月 展示会:8～9月
場 所 展示会:イオンモール川口前川、アトリア		場 所 表彰式:水道庁舎 展示会:アトリア 第一本庁舎1階
参加者 応募1,575名		定員 なし
決算額 300千円		予算額 523千円
実施日 7月7日	地域の青少年の非行防止や事故防止に役立った。	実施日 7月20日
場 所 川口駅		場 所 川口駅
参加者 ー		目 標 ー
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 7月21日～8月31日	地域の青少年の非行防止や事故防止に役立った。	実施日 7月21日～8月31日
場 所 幸栄地区内		場 所 幸栄地区内
参加者 ー		目 標 ー
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 中止	おかめ市開催規模縮小に伴い中止。	実施日 12月15日
場 所 ー		場 所 川口神社周辺
参加者 ー		目 標 20名
決算額 0千円		予算額 0千円

担当	事業名	事業内容	対象者
西公民館	愛のひと声・あいさつ運動	登下校時、夏祭り、町会行事での声かけ等による防犯パトロール活動。	青少年
西公民館	熊手市おかめ市巡回補導	熊手市おかめ市における青少年の非行防止。	青少年
青木公民館	愛のひと声・あいさつ運動	地区内非行防止事業	地区内の青少年
前川公民館	青少年健全育成研修会(前川南公民館と共催)	「地域の子どもは地域で守り育てる」視点から講演会形式による研修を行う。	前川公民館地区・南前川公民館地区の青少年育成協議会役員

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 7月～8月	地域社会で青少年にあいさつをかわす習慣を作り、非行から守ることができた。	実施日 7月～8月
場 所 西公民館地区内		場 所 西公民館地区内
参加者 100名		目 標 100名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 12月19日	青少年の非行を防止することができた。	実施日 12月19日
場 所 飯塚氷川神社		場 所 飯塚氷川神社及び周辺
参加者 14名		目 標 14名
決算額 18千円		予算額 30千円
実施日 夏休み期間等	青少年の非行防止と健全育成のより一層の推進が図られた。	実施日 夏休み期間等
場 所 青木地区内		場 所 青木地区内
参加者 -		目標 -
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 11月26日	地域関係団体に「地域の子どもを守り育てる」啓発活動を行った。 ※決算額は前川公民館支出分です。	実施日 2月17日
場 所 前川公民館 視聴覚室		場 所 前川公民館 視聴覚室
参加者 23名		目標 40名
決算額 17千円		予算額 60千円

担当	事業名	事業内容	対象者
前川南 公民館	前川地区青少年健全 育成研修会(前川公民 館と共催)	青少年を取り巻く環境と社会情勢 を題材として、講演会形式による研 修を行う。	市民
南平公 民館	愛のひと声・あいさつ 運動	地区内非行防止事業	青少年
朝日公 民館	愛のひと声・あいさつ 運動(夜間パトロー ル)	朝日公民館地区青少年育成協議 会が中心となり、地区町会、自治会 の協力をいただき、青少年の健全 な育成を図るべく、夜間パトロール を実施。	青少年
領家公 民館	愛のひと声、あいさつ 運動	青少年育成委員を中心に日常生 活の中で、地域の青少年に声掛け を、行い、非行防止、事故防止を 図る。	青少年

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 11月26日	子供の脳と心に潜むインターネットやゲーム依存の現状と対策について認識できた。	実施日 2月17日
場 所 前川公民館視聴覚室		場 所 前川公民館視聴覚室
参加者 23名		目標 50名程度
決算額 13千円		予算額 18千円
実施日 夏休み期間中	青少年の非行防止と健全育成のより一層の推進が図られた。	実施日 夏休み期間中
場 所 地区内		場 所 地区内
参加者 2,323名		目標 900名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 8月5日	青少年の非行防止と健全育成のより一層の推進が図られた。	実施日 8月3日
場 所 朝日公民館地区		場 所 朝日公民館地区
参加者 39名		目標 70名
決算額 7千円		決算額 7千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 夏季
場 所 —		場 所 領家地区
参加者 —		目標 2,000名
決算額 0千円		予算額 0千円

担当	事業名	事業内容	対象者
新郷公民館	新郷地区青少年健全育成研修会 (新郷南公民館と共催)	家庭や地域が一体となって、青少年の健全育成に対する理解と認識を深め、家庭・地域の教育力向上を図る	新郷公民館地区青少年育成協議会委員 他、地区内保護者
新郷南公民館	愛のひと声・あいさつ運動	地域のふれあいを通して、青少年の健全育成・非行防止を図る。	地域内青少年
新郷南公民館	青少年健全育成協議会研修会(新郷公民館育成協議会と共催)	家庭や地域が一体となって、青少年の健全育成に対する理解と認識を深めて、家庭・地域の教育力向上を図る。	新郷公民館地区青少年育成協議会委員、 地区内保護者
芝北公民館	愛のひと声・あいさつ運動	日常生活の中で地域の青少年に声かけを行い、非行防止、事故防止を図る。夏休みを強化期間とする。	地域の青少年

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 11月27日	研修会を通じて、青少年の健全育成への理解と認識の向上に繋がり、青少年育成の知識を身につけることができた。	実施日 11月26日
場 所 新郷南公民館		場 所 新郷公民館
参加者 26名		目 標 50名
決算額 29千円		予算額 60千円
実施日 7月21日～8月31日	明るい地区づくりにより一層の推進が図られた。	実施日 7月31日～8月31日
場 所 地区内		場 所 地区内
参加者 延べ80人		目 標 延べ150人
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 11月27日	研修会を通じて、青少年の健全育成への理解と認識の向上に繋がり、青少年育成の知識を身につけることができた。	実施日 11月26日
場 所 新郷南公民館		場 所 新郷南公民館
参加者 26名		目 標 80名
決算額 28千円		予算額 50千円
実施日 通年	青少年の非行防止と健全育成のより一層の推進が図られた。	実施日 通年
場 所 公民館地区内		場 所 公民館地区内
参加者 ー		目 標 ー
決算額 0千円		予算額 0千円

担当	事業名	事業内容	対象者
芝富士 公民館	「愛のひと声・あいさつ運動」(夏季)	地域の青少年を温かく見守り、非行から守る。	地域青少年育成協議会委員
芝富士 公民館	「愛のひと声・あいさつ運動」(冬季)	地域の青少年を温かく見守り、非行から守る。和楽備神社おかめ市パトロール。	地区青少年育成協議会委員
芝園公 民館	愛のひと声・あいさつ運動	夏休み期間中の小・中学生へのあいさつ運動	地区内青少年
芝園公 民館	おかめ市街頭パトロール	和楽備神社おかめ市でのパトロール	小・中学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。	実施日 7月・8月
場 所 ー		場 所 芝富士公民館地区
参加者 ー		目 標 任意参加
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 12月17日	青少年の非行防止や健全育成に一層の推進が図られた。	実施日 12月17日
場 所 和楽備神社周辺		場 所 和楽備神社周辺
参加者 11名		目 標 17名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止	実施日 7月下旬～8月
場 所 ー		場 所 芝園公民館
参加者 ー		目標 10名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 12月17日	小中学生の非行防止と健全育成の推進が図られた。	実施日 12月17日
場 所 和楽備神社		場 所 和楽備神社
参加者 9人		目標 10人
決算額 1千円		予算額 5千円

担当	事業名	事業内容	対象者
安行公民館	愛のひと声・あいさつ運動	登校時のあいさつ 夜間パトロール	地区内の青少年
中央ふれあい館	青少年非行防止・防犯街頭キャンペーン	駅頭での啓発物の配布等により、青少年の非行防止についての市民の意識を高める。	青少年
中央ふれあい館	愛のひと声・あいさつ運動	地区内を巡回し、地域青少年に声をかけ、非行防止を図る。特に夏休み期間を含む7月1日～8月31日を強調期間として取り組む。	青少年
中央ふれあい館	おかめ市街頭補導	少年少女がおかめ市を楽しめるように、川口神社周辺を声をかけながら巡回する。	青少年

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 通年	活動を通して、地域の児童・生徒の顔を覚えることができ、互いにあいさつをする習慣が身についてきた。	実施日 通年
場 所 安行公民館地区全域		場 所 安行公民館地区全域
参加者 延べ人数 1121名		目 標 ー
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 7月7日	青少年の非行防止と健全育成のより一層の推進が図られた。	実施日 7月20日
場 所 JR川口駅(東西ロデッキ)		場 所 JR川口駅(東西ロデッキ)
参加者 19名		目 標 18名
決算額 0千円		予算額 1千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 7月1日～8月31日
場 所 ー		場 所 中央地区内
参加者 ー		目 標 240名
決算額 0千円		予算額 1千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 12月15日
場 所 ー		場 所 川口神社周辺
参加者 ー		目 標 21名
決算額 0千円		予算額 1千円

担当	事業名	事業内容	対象者
鳩ヶ谷 公民館	愛のひと声、あいさつ運動(青少年非行防止夜間パトロール)	青少年育成委員・地区自治会・学区PTAを中心に日常生活の中で地域の青少年に声かけを行い、非行防止、事故防止を図る。	青少年
鳩ヶ谷 公民館	おかめ市開催に伴う街頭補導	毎年12月に行われる鳩ヶ谷氷川神社のおかめ市にて、青少年の補導及び事故防止にあたる。	青少年
里公民館	こども卓球ひろば	卓球を介して大人と子供の交流を図る	小学生
里公民館	こども体験教室	貸切バスを使い「そなエリア東京」で災害について対応を体験した。	小学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止	実施日 8月4日、18日、25日
場 所 ー		場 所 桜町地区、鳩ヶ谷本町、坂下町
参加者 ー		目 標 130名
決算額 0千円		予算額 10千円
実施日 12月25日	地区自治会、学区PTA、武南警察署少年非行防止ボランティア、青少年育成推進員の協力により、青少年の補導及び事故防止にあたる事が出来た。	実施日 12月24日
場 所 鳩ヶ谷氷川神社		場 所 鳩ヶ谷氷川神社
参加者 157名		目 標 150名
決算額 2千円		予算額 10千円
実施日 8月と12月を除く年10回	卓球を通じて、指導者だけでなく親との交流も深めることができた。	実施日 8月と12月を除く年10回
場 所 2階ホール		場 所 2階ホール
参加者 小学生		目 標 各回20人参加
決算額 26千円		予算額 28千円
実施日 令和4年10月30日	災害時における対応や必需品の用意など貴重な体験ができた。	実施日 未定
場 所 そなエリア東京		場 所 未定
参加者 12名		目 標 15名
決算額 75千円		予算額 90千円

担当	事業名	事業内容	対象者
里公民館	夏休みこども工作教室	万華鏡を作る	小学生
文化財課	学習支援コンテンツ「おうちで博物館」	学校教育活動における地域の歴史や文化財の学習支援のため、歴史や文化財に関する資料やワークシート、動画などを作成し、ホームページに掲載して広く発信する。	市内小・中学生
文化財課	学習相談	児童生徒の社会科の学習や文化財に関する調査・研究について電話相談を受け付け、支援や助言、資料提供等を行う。	市内小・中学生
予防課	防火ポスターコンクール	児童の火災予防への関心を高めるため、防火に関する絵画を募集し、火災予防の一層の普及を図る。	市内小学校に在籍の児童

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 令和4年8月27日	工作の楽しさを学ぶことができた。	実施日 令和4年8月27日
場 所 里公民館		場 所 里公民館
参加者 8名		目標 15名
決算額 16千円		予算額 16千円
実施日 4月～3月	文化財センターのホームページに複数の学習支援コンテンツを掲載し、歴史や文化財に対する興味・関心を高めることができた。	実施日 4月～3月
場 所 文化財センターホームページ		場 所 文化財センターホームページ
参加者 ー		目標 ー
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 7月21日～8月31日	「夏休みスタディ・サポート」として歴史や文化財に関する学習相談を受け付け、市内の児童生徒の相談に応えることで、歴史や文化財に関する情報を伝えることができた。	実施日 7月21日～8月31日
場 所 郷土資料館		場 所 郷土資料館
参加者 33名		目標 ー
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 7月上旬から12月上旬 (募集～展示～表彰)	39校から1,124作品の応募があり、火災予防への関心を高められた。また、低学年の部・高学年の部の最優秀賞作品を原画とした防火ポスターを作成し、市内掲示板に掲出するなどして広く市民に火災予防広報を行うことができた。	実施日 7月上旬から12月上旬 (募集～展示～表彰)
場 所 消防局等		場 所 消防局等
参加者 小学生		目標 1,000作品
決算額 100千円		予算額 106千円

担当	事業名	事業内容	対象者
選挙管理委員会事務局	明るい選挙啓発ポスター・書道・標語作品の募集	明るい選挙への希望を表した作品により、一般有権者の自覚を促すとともに、児童・生徒にも政治意識を身につけ、選挙について考えることを目的とする。	市内の学校に通う小・中・高校生
選挙管理委員会事務局	選挙器材貸出事業	投票器材等を貸出し、学校で行う生徒会の選挙や公民等の授業で使用し、実際に触れることによって、選挙・政治への関心を高めることを目的とする。	市内の学校に通う中・高校生
選挙管理委員会事務局	バースデーカード送付	新有権者となる18歳の方に対し、有権者としての自覚を持ってもらうために実施している。また、選挙を身近に感じてもらうため投票事務体験の募集も併せて行っている。	令和4年度に18歳となる者

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 令和4年5月上旬 ～令和5年3月	作品展を行い、応募した生徒と家族が見に来てもらうことで選挙に関心を持ってもらう	実施日 令和5年5月上旬 ～令和6年3月
場 所 リア3階ギャラリー(全作品) 第一本庁舎1階多目的スペース(優秀作品)		場 所 リア3階ギャラリー(全作品) 第一本庁舎1階多目的スペース(優秀作品)
参加者 1,821名		目 標 1,500名
決算額 354千円		予算額 400千円
実施日 9回	実物を使用することで選挙を身近に感じてもらう	実施日 各学校からの依頼により実施予定
場 所 各学校		場 所 各学校
参加者 9校		目 標 10校
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 令和4年4月1日 ～令和5年3月31日	18歳から有権者であることを自覚してもらう	実施日 令和5年4月1日 ～令和6年3月31日
場 所 対象者に郵送		場 所 対象者に郵送
参加者 4,996名		目 標 約5,000名
決算額 350千円		予算額 385千円

④体制づくり

担当	事業名	事業内容	対象者
青少年対策室	公民館地区青少年育成協議会会長・事務局長合同会議	少年非行の現状、青少年対策の施策、事業計画、交付金等について、青少年育成協議会の会長・事務局長による協議・情報共有のための会議。	各公民館地区青少年育成協議会会長・事務局長
青少年対策室	川口市青少年育成推進員協議会会議	川口市青少年育成推進員協議会の活動状況、活動計画について、協議・情報共有のための会議。	青少年育成推進員
青少年対策室	川口市青少年問題協議会会議	いじめ、不登校解消及び非行防止対策、少年非行の現状、青少年対策の施策と事業計画について、協議・情報共有のための会議。	川口市青少年問題協議会委員
協働推進課	川口市青少年ボランティア育成事業	川口市をボランティアでよりよいまちにすることを目的に、川口市(協働推進課)と社会福祉法人川口市社会福祉協議会(かわぐちボランティアセンター)と協働で、青少年を対象にボランティア体験事業などを実施する。(外部委員会)	市内在住・在学・在勤の小学生から概ね25歳の青少年

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 5月10日	出席者の認識の統一と意見交換が図られた。	実施日 5月9日
場 所 SKIPシティ多目的ホール		場 所 青木会館
参加者 46名		定 数 66名
決算額 88千円		予算額 112千円
実施日 5月30日	出席者の認識の統一と意見交換が図られた。	実施日 5月26日
場 所 SKIPシティ多目的ホール		場 所 青木会館
参加者 17名		定 数 85名
決算額 12千円		予算額 31千円
実施日 ①6月30日 ②1月24日	出席者の認識の統一と意見交換が図られた。	実施日 ①6月12日 ②未定
場 所 ①生涯学習プラザ ② "		場 所 ①青木会館 ②未定
参加者 ①13人 ②11人		定 数 15名
決算額 135千円		予算額 179千円
実施日 通年	こどもフリーさろん、夏休みこどもボランティアさろん、青少年ボランティアスクール、通年ボランティア事業、青少年ボランティア啓発ポスター事業等を通じ、多くの市内の青少年にボランティア体験事業を実施した。	実施日 通年
場 所 市内全域		場 所 市内全域
参加者 のべ1,124名		目標 のべ1,300名
決算額 567千円		予算額 650千円

担当	事業名	事業内容	対象者
協働推進課	川口市青少年ボランティア育成委員会 (青少年ボランティア育成事業)	市民ボランティア、教育関係者、福祉関係者、知識経験者等で構成し、青少年ボランティア育成のための事業を検討し、実施。	市民ボランティア、教育関係者、福祉関係者、知識経験者等
協働推進課	青少年ボランティア部 (青少年ボランティア育成事業)	青少年ボランティア部員として青少年ボランティア育成委員会に登録し、定例活動の実施、また、連絡を受け、イベントの手伝いや、ボランティア活動等に参加する。(令和4年度より実施)	中学生から概ね25歳までの青少年
並木公民館	並木公民館地区青少年育成協議会	少年非行の現状、青少年対策の施策、事業計画、交付金等について、審議する。	並木公民館地区青少年育成協議会委員
青木公民館	青木公民館地区青少年育成協議会総会	青少年健全育成のための事業・予算等についての協議・情報交換等を行う。	青木公民館地区青少年育成協議会委員

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 4月20日 6月24日 10月7日 2月15日	2年毎に委員を公募し、多岐にわたる意見により向上を図ることができた。	実施日 4月19日 6月28日 10月13日 2月16日
場 所 かわぐち市民パートナーステーション		場 所 かわぐち市民パートナーステーション
参加者 26名		目標 27名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 通年	ボランティア活動に積極的に参加したい意欲のある青少年に対し、通年で活動の場を提供することができた。	実施日 通年
場 所 かわぐち市民パートナーステーション他		場 所 かわぐち市民パートナーステーション他
参加者 33名		目標 50名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 6月（書面開催）	少年非行の現状、青少年対策の施策、事業計画、交付金等について審議し、青少年の非行防止と健全育成のより一層の推進が図られた。	実施日 7月15日
場 所 並木公民館		場 所 並木公民館
参加者 14名		定 員 12名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 書面開催	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催に変更し、情報共有が図られた。	実施日 5月18日
場 所 ー		場 所 青木公民館
参加者 32名		目標 40名
決算額 0千円		予算額 20千円

担当	事業名	事業内容	対象者
上青木 公民館	上青木公民館地区青少年育成協議会総会	青少年健全育成のための事業・予算等についての協議・情報交換等を行う。	上青木公民館地区青少年育成協議会委員
前川公 民館	青少年育成協議会総会	前年度の事業及び決算の報告。今年度の事業計画及び予算について説明。	前川公民館地区青少年協議会
前川南 公民館	前川南公民館地区青少年育成協議会総会	青少年育成に関する事業の企画・立案及び執行についての会議。	前川南公民館地区青少年育成協議会委員及び事務局職員
前川南 公民館	愛のひと声・あいさつ運動	青少年育成に関する事業の企画・立案及び執行についての会議。	青少年

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 書面開催	新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催に変更し、情報共有が図られた。	実施日 5月9日
場 所 ー		場 所 上青木公民館講座室
参加者 30名		目 標 30名
決算額 7千円		予算額 10千円
実施日 6月3日	協議会の事業の報告及び事業計画等の認識が共有できた。	実施日 6月9日
場 所 前川公民館 視聴覚室		場 所 前川公民館 講座室
参加者 14名		目 標 21名 (実参加者16名)
決算額 0千円		予算額 2千円
実施日 6月17日	委員及び事務局職員の認識の統一と意見交換が図られた。	実施日 6月16日
場 所 会議室		場 所 会議室
参加者 8名		目 標 10名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 6月17日	委員及び事務局職員の認識の統一と意見交換が図られた。	実施日 6月16日
場 所 会議室		場 所 会議室
参加者 8名		目 標 10名
決算額 0千円		予算額 0千円

担当	事業名	事業内容	対象者
南平公民館	南平公民館地区青少年育成協議会総会	年度総会・委員間の情報交換	南平公民館地区 青少年育成協議会 青少年育成推進員
朝日公民館	朝日公民館地区青少年育成協議会会議	朝日公民館地区青少年育成協議会青少年育成委員による会議	朝日公民館地区 青少年育成協議会委員
領家公民館	領家公民館地区青少年育成協議会総会	公民館地区の青少年対策についての会議。	地区青少年育成協議会会員
朝日東公民館	青少年育成協議会会議	公民館地区青少年育成委員(19名)による地区青少年の健全育成を目的とする会議。	地区青少年育成委員

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 書面開催	新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催に変更し、情報共有が図られた。	実施日 7月4日
場 所 ー		場 所 南平公民館
参加者 0名		目 標 31名
決算額 0千円		予算額 5千円
実施日 7月16日	青少年の健全な育成を図る。	実施日 7月15日
場 所 朝日公民館		場 所 朝日公民館
参加者 18名		目 標 30名
決算額 3千円		決算額 5千円
実施日 6月5日	出席者の認識の統一がおこなえた。また、意見交換をおこなった。	実施日 6月4日
場 所 領家公民館		場 所 領家公民館
参加者 31名		目 標 31名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 6月3日	青少年健全育成のための情報共有が図られた。	実施日 6月30日
場 所 朝日東公民館		場 所 朝日東公民館
参加者 20名		目 標 地区青少年の健全育成
決算額 0千円		予算額 0千円

担当	事業名	事業内容	対象者
朝日東 公民館	少年少女スポーツ大会 関連会議	公民館地区青少年育成委員(主に 町会青少年部)によるスポーツ大会 の運営にかかる会議。	地区青少年育成委員
新郷公 民館	新郷公民館地区青少 年育成協議会総会	地区内の青少年健全育成事業の 決定機関	新郷公民館地区青少 年育成協議会委員、 青少年育成推進員
新郷南 公民館	新郷南公民館地区青 少年育成協議会総会	年度総会と委員間の情報共有	新郷南公民館地区青 少年育成委員
根岸公 民館	地区子ども育成連絡 協議会	定例会議	各町会育成部長代表 者

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 9月13日、11月11日	大会の運営方法について協議する。	実施日 9月15日、11月10日
場 所 朝日東公民館		場 所 朝日東公民館
参加者 24名		目標 地区青少年の健全育成
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 書面開催	新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催に変更し、情報共有が図られた。	実施日 5月27日
場 所 ー		場 所 新郷公民館
参加者 16名		目標 20名
決算額 26千円		予算額 15千円
実施日 書面議決	新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催で行った。情報共有が図られた。	実施日 6月～7月
場 所 ー		場 所 新郷南公民館
参加者 23名		目標 23名
決算額 5千円		予算額 60千円
実施日 毎月第2水曜日	事業計画、円滑な推進に繋げることができた。	実施日 毎月第2水曜日
場 所 根岸公民館		場 所 根岸公民館
参加者 69名		目標 80名
決算額 0千円		予算額 0千円

担当	事業名	事業内容	対象者
根岸公民館	青少年育成協議会総会	審議事項・令和3年度事業実施報告 ・令和3年度収支決算報告 ・令和3年度監査報告 ・令和4年度事業計画(案) ・令和4年度収支予算書(案) ・その他について審議	地区青少年育成協議会委員
神根西公民館	青少年育成協議会総会	前年度の事業及び決算報告並びに今年度の事業計画及び予算の承認	協議会委員
神根東公民館	地区青少年育成協議会総会	事業・決算報告及び事業・予算(案)の承認等を行う。	青少年育成委員
神根東公民館	少年少女スポーツ大会 代表者会議	大会開催に伴う会議を行う。	青少年育成委員及び町会役員

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 7月24日	各議題が審議・承認された。	実施日 7月26日
場 所 根岸公民館		場 所 根岸公民館
参加者 17名		目 標 20名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 7月8日	委員の情報交換及び情報共有が図られた。	実施日 7月7日
場 所 書面開催		場 所 北スポーツセンター会議室
参加者 10人		目 標 12人
決算額 5千円		予算額 0千円
実施日 書面開催	新役員により、様々な意見交換がみられる。	実施日 5月13日
場 所 神根東公民館		場 所 神根東公民館
参加者 ー		定 員 30名
決算額 0千円		予算額 2千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 5月28日
場 所 ー		場 所 神根東公民館
参加者 ー		定 員 30名
決算額 0千円		予算額 2千円

担当	事業名	事業内容	対象者
神根東 公民館	神根ブロック 青少年育成協議会研修 会	青少年育成について神根地区全 体で共通認識を持つ。	青少年育成委員及び 町会役員
芝南公 民館	芝南公民館地区青少 年育成協議会総会	芝南公民館地区青少年育成委員 相互の情報共有のための会議。	芝南公民館地区青少 年育成委員
芝西公 民館	少年少女スポーツ大 会 準備会	少年少女スポーツ大会に関する準 備会。	町会長・町会育成部 長等
芝西公 民館	芝西公民館地区青少 年育成協議会総会	芝西公民館地区の青少年対策に ついての会議。	芝西公民館地区青少 年育成協議会委員

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 2月15日	講演及び質疑応答により問題解決の糸口を発見することが出来た。	実施日 予定なし
場 所 神根東公民館		場 所 ー
参加者 14名		定 員 ー
決算額 12千円		予算額 ー
実施日 書面開催	新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催に変更し、情報共有が図られた。	実施日 5月27日
場 所 ー		場 所 芝南公民館
参加者 23名		目 標 23名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 6月
場 所 ー		場 所 芝西公民館会議室
参加者 ー		目 標 21名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 8月3日	地区青少年の健全育成に関する体制づくりと事業実施に関する年度総括・計画審議を行い関係者の認識共有・意見交換が図られた。	実施日 8月
場 所 芝西公民館会議室		場 所 芝西公民館会議室
参加者 10名		目 標 26名
決算額 0千円		予算額 0千円

担当	事業名	事業内容	対象者
芝北公民館	芝北公民館地区青少年育成協議会総会	公民館地区の青少年対策についての会議	所属委員(12名)
芝富士公民館	芝富士公民館地区青少年育成協議会総会	地域における青少年の健全育成のため。	地域青少年育成協議会委員
芝園公民館	青少年育成協議会会議	青少年育成協議会を開催	芝園公民館地区青少年育成協議会委員・青少年育成推進員
安行公民館	安行公民館地区青少年育成協議会総会	青少年健全育成のための事業・予算等についての協議・情報交換等を行う。	安行公民館地区青少年育成協議会委員

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 6月16日	各委員の認識が図られた。	実施日 6月15日
場 所 公民館会議室		場 所 公民館会議室
参加者 8名		目標 11名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 7月7日	委員の認識の統一が図られ、意見交換が行われた。	実施日 7月5日
場 所 芝富士公民館		場 所 芝富士公民館
参加者 15名		目標 19名
決算額 2千円		予算額 2千円
実施日 7月3日	前年度の事業報告及び事業計画の説明、並びに意見交換・質疑応答をすることにより、委員の認識共有が図られた。	実施日 6月18日
場 所 芝園公民館 会議室		場 所 芝園公民館 会議室
参加者 9人		目標 10名
決算額 0千円		予算額 5千円
実施日 7月8日	青少年健全育成のための事業・予算等についての協議・情報交換等を行い意識を高めることができた。	実施日 7月7日
場 所 安行公民館		場 所 安行公民館
参加者 17名		目標 23名
決算額 2千円		予算額 5千円

担当	事業名	事業内容	対象者
安行東公民館	安行東公民館地区青少年育成協議会総会	前年度の事業及び決算の報告。今年度の事業計画及び予算の承認	安行東公民館地区青少年育成協議会委員
中央ふれあい館	第1回中央地区青少年育成協議会	総会	中央地区青少年育成協議会育成委員
中央ふれあい館	第2回中央地区青少年育成協議会	「青少年問題について」の講演と会議	中央地区青少年育成協議会育成委員
鳩ヶ谷公民館	青少年育成協議会役員会	前年度事業を振り返り、今年度の事業計画等について意見交換をする。	会員・役員

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 書面会議	書面会議にて実施。 青少年に関する事業の企画立案及び執行について各委員の認識が図られた。	実施日 6月15日
場 所 ー		場 所 安行スポーツセンター 集会ホール
参加者 ー		目 標 15名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 6月22日	前年度の事業・決算及び今年度の事業・予算を承認した。	実施日 6月29日
場 所 中央ふれあい館		場 所 中央ふれあい館
参加者 26名		目 標 23名
決算額 0千円		予算額 1千円
実施日 11月16日	青少年問題についての理解が深められた。	実施日 11月下旬
場 所 中央ふれあい館		場 所 中央ふれあい館
参加者 25名		目 標 25名
決算額 3千円		予算額 3千円
実施日 4月1日	前年度事業及び次年度事業の企画等について意見交換をすることが出来た。	実施日 4月1日
場 所 鳩ヶ谷武道場		場 所 鳩ヶ谷公民館
参加者 6名		目 標 6名
決算額 0千円		予算額 0千円

担当	事業名	事業内容	対象者
鳩ヶ谷 公民館	青少年育成協議会総会	前年度事業及び決算報告及び今年度の事業計画及び予算についての承認。	会員
南鳩ヶ 谷公民 館	青少年育成協議会総会	前年度の事業及び決算の報告。今年度の事業計画及び予算の承認	南鳩ヶ谷公民館地区 青少年育成協議会委員
里公民 館	青少年育成協議会総会	前年度の事業及び決算の報告。今年度の事業計画及び予算の承認	里公民館地区青少年 育成協議会委員

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 書面開催	新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面表決	実施日 6月30日
場 所 ー		場 所 鳩ヶ谷公民館
参加者 38名		目 標 38名
決算額 5千円		予算額 5千円
実施日 書面開催	新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面表決	実施日 7月25日
場 所 ー		場 所 南鳩ヶ谷公民館
参加者 28名		定 員 33名
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 7月9日	前年度の事業・決算及び今年度の事業・予算を承認した。青少年育成事業等における情報や認識の共有が図られた。	実施日 7月8日
場所 里公民館		場 所 里公民館
参加者 23名		定 員 24名
決算額 0千円		予算額 0千円

⑤その他

担当	事業名	事業内容	対象者
青少年対策室	いじめ防止推進事業	「川口市いじめを防止するためのまちづくり推進条例」に基づき、地域社会をあげていじめの防止に取り組むことを目的とした事業。いじめ問題の解決に向け、いじめから子どもを守る委員会による面接相談を実施。	市内在住・在学の小中高校生
青少年対策室	青少年の健全育成に関する作文コンクール	小・中学生が日常生活の中で青少年の健全育成について考えていることをテーマに作文を募集し、優秀作品の表彰を行う。	市内小学4年生～中学生
協働推進課	日本語を母語としない子どもと保護者のための高校進学相談会	日本の高校入試制度や学校生活・学費などの進学に関する基本的な情報提供を行う。	日本語を母語としない子どもと保護者
文化推進室	青少年ピアノコンクール	市内に在住又は在学する青少年(小学生から高校生)を対象とした自由曲形式のピアノコンクール	小・中・高校生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 毎月第1～3週木曜日	面接相談の結果、解決に至ったケースがあり着実に実績を出している。	実施日 毎月第1～3週木曜日
場 所 川口市役所第2庁舎会議室		場 所 川口市役所第2庁舎会議室
相 談 20ケース		目標数 目標設定に適さない
決算額 2,353千円		予算額 2,497千円
実施日 3月4日	青少年が社会の中での自分の存在や関わりについて考えるきっかけになるとともに、市民の方々の青少年に対する理解が深まった。	実施日 3月9日
場 所 川口総合文化センターリリア 音楽ホール		場 所 川口市民ホールフレンジア
応 募 小学生470名 中学生293名		目標数 1,500名
決算額 106千円		予算額 95千円
実施日 9月25日	アンケートでは80%以上の方が満足しているという結果が伺えたことで、外国とは異なる日本の高校進学制度についてより一層の周知が図られた。	実施日 8月26日
場 所 かわぐち市民パートナーステーション		場 所 かわぐち市民パートナーステーション
参加者 43名		定 員 約40名
決算額 14千円		予算額 23千円
実施日 予選:7月25日(月)～27日(水) 本選:8月9日(火)	ピアノを学ぶ青少年の研鑽意欲を高め、豊かな感性を育み、幅広い音楽文化の普及と振興に寄与した。	実施日 予選:7月24日(月)～26日(水) 本選:8月10日(木)
場 所 リリア音楽ホール		場 所 リリア音楽ホール
参加者 238名		目 標 250名
決算額 3,180千円		予算額 3,180千円

担当	事業名	事業内容	対象者
文化推進室	川口市小・中・高校硬筆展覧会	市立小・中・高校の硬筆作品展として、各校の優秀作品ならびに県展覧会出展作・入選作を展示する。	小・中・高校生
文化推進室	川口市特別支援学級合同作品展	市内特別支援学級の児童生徒の作品(絵画や手芸など)を展示する。	小・中学生
文化推進室	中学生のART CLUB展	市立中学校の美術部を中心とした文化部の生徒による、活動の成果発表として作品を展示する。	中学生
文化推進室	川口市小・中・高校書きぞめ展覧会	市立小・中・高校の書きぞめ作品展として、各校の優秀作品ならびに県展覧会出展作・入選作を展示する。	小・中・高校生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 7月6日(水)～10日(日)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止。	実施日 指定管理者制度へ移管
場 所 アートギャラリー		場 所
参加者 0名		目 標
決算額 0千円		予算額
実施日 12月7日(水)～12月11日(日)	アートギャラリーにおいて自らの作品を家族や友人のほか、多くの人に鑑賞してもらうという経験を積むことができた。	実施日 指定管理者制度へ移管
場 所 アートギャラリー		場 所
参加者 1,841名		目 標
決算額 88千円		予算額
実施日 1月28日(土)～2月5日(日)	アートギャラリーにおいて自らの作品を家族や友人のほか、多くの人に鑑賞してもらうという経験を積むことができた。	実施日 指定管理者制度へ移管
場 所 アートギャラリー		場 所
参加者 841名		目 標
決算額 225千円		予算額
実施日 2月9(木)～2月12日(日)	アートギャラリーにおいて自らの作品を家族や友人のほか、多くの人に鑑賞してもらうという経験を積むことができた。	実施日 指定管理者制度へ移管
場 所 アートギャラリー		場 所
参加者 4,815名		目 標
決算額 156千円		予算額

担当	事業名	事業内容	対象者
文化推進室	川口の図工美術まなび展	埼玉県作品展等で受賞した特選作品、ポスターコンクールなどの優秀作品、また授業の実践作品などを展示する。	中学生
生涯学習課	はたちの集い実行委員会交付事業	川口市はたちの集いを計画・実施する川口市はたちの集い実行委員会に対し補助金を交付する。	川口市はたちの集い実行委員会
中央図書館	おはなし会協力員研修会	おはなし会協力員としての知識やストーリーテリングの技術を深めてもらう。	中央図書館で活動するおはなし会ボランティア協力員
中央図書館	わらべうた研修会	乳幼児向けおはなし会協力員として幅広い活動を目指して、よりたくさんの方のわらべうたを学び、子どもへの伝え方を習得してもらう。	市内図書館で活動する乳幼児向けおはなし会ボランティア協力員

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 2月18日(土)～2月26日(日)	アートギャラリーにおいて自らの作品を家族や友人のほか、多くの人に鑑賞してもらうという経験を積むことができた。	実施日 指定管理者制度へ移管
場 所 アートギャラリー		場 所
参加者 1,644名		目 標
決算額 225千円		予算額
実施日 1月9日	大人としての自覚と自主性を促すきっかけとなった。	実施日 1月8日
場 所 川口総合文化センター・リリア及び川口西公園		場 所 川口総合文化センター・リリア及び川口西公園
参加者 3,278名		目 標 3500名
決算額 10,902千円		予算額 11,680千円
実施日 2月13日、3月6日	図書館で活躍しているおはなし会協力員の方々に、専門的な実習指導を通して、技術を磨いてもらうことができた。普段活動するうえでの問題点や、ストーリーテリングをおこなううえでの疑問点の解消にも役立った。	実施日 未定
場 所 中央図書館		場 所 中央図書館
参加者 27名		目 標 ー
決算額 70千円		予算額 50千円
実施日 1月13日、31日	わらべうたについて実践的に学びながら、乳幼児サービス全般に関してや、乳幼児の発達について等、図書館のわらべうた協力員としての知識を深めることができた。	実施日 未定
場 所 中央図書館		場 所 中央図書館
参加者 33名		目 標 ー
決算額 50千円		予算額 50千円

担当	事業名	事業内容	対象者
鳩ヶ谷図書館	おはなし会協力員研修会	乳幼児向けおはなし会協力員として幅広い活動を目指して、よりたくさんのおはなしを学び、子どもへの伝え方を習得してもらう。	鳩ヶ谷図書館で活動するおはなし会ボランティア協力員
指導課	生徒指導関係諸調査	市立学校の児童生徒の欠席状況、原因と思われる事柄、いじめの認知・解消、非行問題行動状況等、生徒指導に関する調査の実施を通して、市内児童生徒の状況を的確に把握し、指導行政の推進の資料とする。	市内全小・中学校、川口市立高等学校
指導課	生徒指導担当学校訪問	市立小・中学校に生徒指導担当者が訪問し児童生徒の状況並びに、指導経過について実態把握を行い、さらに関係諸機関との連携強化について指導・助言を行う。	市内小・中学校
指導課	教育相談員活用事業	川口市独自にすこやか相談員・サポート相談員を全中学校に配置し、埼玉県教育委員会より配置されたスクールカウンセラーとともに、中学校区の児童生徒の相談にあたり、さらに家庭、地域社会、関係諸機関との連携を図る。	市内小・中学生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 10/20、11/17、1/19	わらべうたについて実践的に学びながら、乳幼児サービス全般に関してや、乳幼児の発達について等、図書館のわらべうた協力員としての知識を深めることができた。	実施日 10/6、10/20
場 所 鳩ヶ谷図書館		場 所 鳩ヶ谷図書館
参加者 17名		目標 なし
決算額 75千円		予算額 50千円
実施日 毎月1回	市いじめ調査と不登校調査の内容の見直しを行った。いじめの態様や、認知・経過観察中・解消、また不登校の要因などについて、それぞれの事案を把握することができた。	実施日 毎月1回
場 所 市内全小・中、川口市立高等学校		場 所 市内全小・中、川口市立高等学校
参加者 -		目標 -
決算額 79千円		予算額 79千円
実施日 6月～2月	学校全体や児童生徒の様子を把握することができた。また、個々の事案について学校及び生徒指導担当指導主事で情報共有することができ、今後の対応などについて指導・助言を行った。	実施日 6月～2月
場 所 市立小・中学校(全校1回。)		場 所 市立小・中学校(全校1回。)
参加者 一		目標 一
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 4月～3月	教育相談支援員が、児童・生徒とのふれあいを通して、思いやりの心や豊かな人間性を育成するための相談・援助を行った。また、地域のいじめ・不登校などの問題の状況把握、学校・家庭・地域社会との連携などを行った。	実施日 4月～3月
場 所 市内小・中学生		場 所 市内小・中学生
参加者 一		目標 一
決算額 48,424千円		予算額 51,810千円

担当	事業名	事業内容	対象者
指導課	教育相談員活用事業	教育研究所にスクールソーシャルワーカーを5人配置し、学校長の依頼により学校に派遣する。 業務内容 (1)ケースのコーディネートをすること (2)児童の抱えている様々な問題への積極的な働きかけをすること (3)家庭に介入が必要なケースの家庭訪問や関係機関等との連携	市内小・中学生 (児童生徒・保護者)
指導課	川口市生徒指導委員会業務	市内小・中・高等学校で組織し年間を通じて下記の事業を実施し、児童生徒の非行防止や健全育成にむけ活動している。 ＊中・高連絡協議会……生徒指導上の情報交換等年1回 ＊3市合同連絡協議会…3市(川口・蕨・戸田)の情報交換と協議年1回 ＊小・中連絡協議会……生徒指導上の情報交換等年1回 ＊青少年健全育成地域の集い…教育関連の講演会年1回	市内全小・中学生・高校生
指導課	防犯ブザー支給事業	児童の登下校中や放課後の安全確保のために防犯ブザーを支給する。(防犯ブザーは埼玉県トラック協会より寄贈)	市立小学校新1年生全員に対して配布する予定。
指導課	川口市非行防止対策協議会業務	市立小・中学校長及び関係諸団体、警察署の代表者で組織し、少年非行防止・薬物乱用防止等を目的に協議会を開催し情報交換及び、対応策の検討を行う。	市内小・中学校代表

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 4月～3月	市立学校に在籍する児童、生徒、保護者等に対し、スクールソーシャルワーカーが、教育分野のみならず社会福祉に関する専門的な知識・技能を用いて、児童及びその家庭等への支援などを行った。	実施日 4月～3月
場 所 市内小・中学校		場 所 市内小・中学校
参加者 一		目標 一
決算額 6,144千円		予算額 9,820千円
実施日 4月～3月	警察からの情報提供や小・中・高等学校との協議、情報交換を行うことにより、生徒指導指導の積極的な推進に努めた。	実施日 4月～3月
場 所 市内全小・中学校、川口市立高等学校		場 所 市内全小・中学校、川口市立高等学校
参加者 -		目標 -
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 4月	市立小学校新1年生全員に対して配布し、各学校では緊急時に使用できるように指導を行なった。	実施日 4月
場 所 市内公立小学校		場 所 市内公立小学校
参加者 小学校新1年生		目標 小学校新1年生
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 6月、11月 年間2回	不登校や非行傾向がある児童生徒の現状や支援の仕方などについて研修や情報交換を行った。	実施日 5月、10月 年間2回
場 所 市立小・中学校代表		場 所 市立小・中学校代表
参加者 -		目標 -
決算額 60千円		予算額 60千円

担当	事業名	事業内容	対象者
指導課	川口市いじめ問題対策協議会業務	市立学校代表者及び関係諸団体代表者、学識経験者で組織し、いじめ問題の根絶をめざす。	市立小・中・高等学校代表
指導課	生徒指導研修会業務	市立学校の児童生徒の健全育成を目的に、指導にあたる教職員の資質の向上、児童生徒理解の向上を目指して、協議・講演等を実施する。	市立小・中・高等学校教員
指導課	教育相談関連業務	市内児童生徒・保護者・市民の相談、情報の提供、不登校児の学校復帰支援事業等を行う。	市内児童生徒、保護者、市民
指導課	川口市補導会業務	市内小・中・高等学校で組織し年間を通じて下記の事業を実施するとともに、警察との連絡を強化し児童生徒の非行防止や健全育成に向けた活動を行う。 * 補導幹事会…情報交換、協定事項の検討等年3回(6月、11月、2月) * 長期休業中の街頭補導(駅前・大型商業施設周辺等)年3回 * 西の市補導…市内での補導等年3回 * 補導だより…情報広報誌の発行年3回 * ブロック協議会…各地区ブロックごとの小中連携した情報交換・行動連携	市内全小・中学生、川口市立高校生

令和4年度実績	効果	令和5年度予定
実施日 7月(2)、12月、1月 年間4回	いじめ問題対策協議会からの「提言」や各種相談窓口の案内について、各学校の児童生徒や保護者に周知することができた。また、いじめゼロサミットにおいて各小中学校の代表が参加し、いじめ根絶に向けて主体的に考えることができた。	実施日 7月(2)、12月、1月 年間4回
場 所 市立小・中・高等学校代表		場 所 市立小・中・高等学校代表
参加者 -		目標 -
決算額 80千円		予算額 80千円
実施日 4月～3月	いじめ対応教員研修会など各種研修会や教育講演会を実施し、児童生徒を関るとともに教職員の指導力の向上に努めた。	実施日 4月～3月
場 所 小・中・高等学校…年間3回		場 所 小・中・高等学校…年間3回
参加者 -		目標 -
決算額 40千円		予算額 40千円
実施日 4月～3月	不登校児童生徒、小・中学生の性格・行動の問題解消及び、その保護者、市民への相談・支援に寄与することができた。	実施日 4月～3月
場 所 -		場 所 -
参加者 -		目標 -
決算額 0千円		予算額 0千円
実施日 4月～3月	小・中・高等学校での情報の共有が図れた。また、警察署と連携しながら補導活動を行った。駅前やショッピングセンターを中心にタスキを着用しながら、「見せる補導活動」を展開することができた。	実施日 4月～3月
場 所 市内全小・中・川口市立高等学校		場 所 市内全小・中・川口市立高等学校
参加者 -		目標 -
決算額 0千円		予算額 0千円

4 川口市青少年団体連絡協議会加盟団体一覧

市内の青少年団体〔約300単位団体 約17,000人〕で川口市青少年団体連絡協議会を結成し、団体相互の連携と活動の活性化につとめています。

	加 盟 団 体 名	代表者名	会 員 数
1	川口市子ども会連絡協議会	会 長 宮崎 清人	10,500人 (131団体)
2	日本ボーイスカウト埼玉県連盟 みなみ地区川口支部	支部長 舟橋 友喜	377人 (5団体)
3	川口市少年少女合唱団	代 表 樋口 典子	20人
4	川口リトルリーグ	会 長 奥ノ木 信夫	70人
5	川口市剣道連盟 少年少女クラブ	会 長 齋藤 俊博	175人 (19団体)
6	川口市少年サッカー連盟	会 長 武内 秀美	900人 (18団体)
7	川口市少年軟式野球連盟	会 長 増田 守男	864人 (27団体)
8	川口市民吹奏楽団	団 長 伊草 泰則	8人
9	川口市ミニバスケットボール連盟	会 長 伊藤 昌治	768 (29団体)
10	ガールスカウト埼玉県第50団	団委員長 最上 良子	30人
11	青木バトンクラブ	会 長 伊藤 美穂	28人
12	川口初午太鼓連絡協議会	会 長 佐藤 勇	350人 (9団体)
13	川口市空手道連盟少年クラブ	会 長 豊田 淳夫	1,283人 (48団体)
14	川口子どもクラブ育成会	会 長 川田 茂雄	65人
15	川口ラグビースクール	代 表 武内 豊	200人

会 員 資 格	活 動 目 標	主 な 事 業
会員登録した市内の子ども会	子ども会活動の育成と、地域子ども会の福祉増進を図る。	小学生図画コンクール、彩の国21世紀郷土かるた大会、書道展書き初めコンクール
小学校1年生から入団可能・生涯活動可能	青少年が、自らの肉体的、知的、情緒的、社会的、精神的可能性を十分に達成できるように青少年の発達に貢献する。	自然体験・野外活動、社会奉仕活動、国際理解活動
市内在住の小・中学生	合唱力の向上及びその美感覚の体得を通して、子供達により良い音楽経験を積ませ、豊かな心の育成を図るとともに、地域の音楽文化の向上を図る。	川口市合唱祭、川口市七つの祝い、川口市親と子の音楽会、中央ふれあい館文化祭
年長から中学1年生	野球を通じて少年・少女たちの健全なる体力と友情・勇気・尊敬の精神を育成する。	練習、各種大会へ参加、開幕式、サマーキャンプ
小学生	剣道を通して心身を強くし、礼儀を学び立派な少年少女剣士を育てる。	少年少女剣道スポーツ大会、級位審査会
小学生	サッカーを通して少年少女の健全育成を図る。	サッカー練習、試合、市長杯大会、教育長杯大会
小学生	選手間の親睦を密にし、体位の向上、野球競技の習得を図り、青少年の健全育成に寄与する。	市内大会、支部リーグ戦、近隣市大会、上部大会出場
高校生以上の楽器経験者	吹奏楽の通して広く音楽文化広める。より音楽を楽しむ市民バンド。	定期演奏会、アンサンブルコンサート、市内各種行事への参加
小学生	ミニバスケットボールを通じて会員相互の親睦を深める。会員の体位向上と心身の鍛練を図る。	連盟主催の各種大会
小学校就学年前から高校生年代の少女会員他、成人会員	「自己開発」「人との交わり」「自然とともに」を柱として、少女たちが、自ら考え、判断し、行動ができる女性として成長することを目指して、活動する。	自然体験、国際交流、地域公民館文化祭参加、介護ホーム訪問、手作り体験 他
市内及び周辺に居住する3歳以上の者	体力向上を目指し、バトンの練習やイベント参加を通じて、異学年との交流・親睦を深め、上級生としての意識・責任感を持ち、高い目標に向かい日々各々が活動する。	市主催イベントへの出場、
5歳以上で太鼓の会または団体に属している者	川口の郷土芸能である初午太鼓を通して、太鼓の技術を習得しながら青少年育成を図り、明るい社会づくりに貢献する。	青少年まつり、初午太鼓コンクール、たたら祭り 他
連盟加盟団体の会員	空手道の普及及び市民の体育の向上と健全なる精神の修養に資することを目的とし、会員間の強化発展と相互の連絡融和を図る為の諸事業実施、空手道に関する調査及び研究等、本連盟の目的達成に必要な事業の実施。	日常の稽古、市民選手権大会、市民体育祭の開催及び強化事業
小学生	子ども達の健全育成と地域貢献のために、各種行事の指導を行い、事業の推進を図る。	各部活動（サッカー部、野球部、バドミントン部、）、日帰り旅行、バザー等
未就学児、小学生、中学生	子ども達がラグビーを通じてスポーツの楽しさ、厳しさを学び、健康で明るい立派な人間に成長することを目的とする。	基礎練習、県交流大会への参加、交流試合、合宿、レクリエーション活動、スポーツ少年団活動等

5 各種法令による子供・若者の年齢区分

法律の名称	呼称	年齢区分
少年法	少年	20歳未満の者 (ただし、18・19歳のものは特例あり)
刑法	刑事责任年齢	満14歳
児童福祉法	児童	満18歳未満の者
	乳児	1歳未満の者
	幼児	1歳から小学校就学の始期に達するまでの者
	少年	小学校就学の始期から満18歳に達するまでの者
学校教育法	学齢児童	満6歳に達した日の翌日以後における最初の学年の初めから、満12歳に達した日の属する学年の終わりまでの者
	学齢生徒	小学校又は特別支援学校の小学部の課程を終了した日の翌日以後における最初の学年の初めから、満15歳に達した日の属する学年の終わりまでの者
民法	未成年	18歳未満の者
	婚姻適齢	男女ともに満18歳 ただし、令和4年4月1日の改正以前に満16歳となっていた、女子については引継ぎ旧法の規定による。
労働基準法	年少者	18歳未満の者
	児童	満15歳に達した日以後の最初の3月31日が終了するまでの者
埼玉県青少年健全育成条例	青少年	18歳未満の者 (婚姻により成年に達したものとみなされる者を除く)

6 少年非行の現状

非 行 少 年 補 導 （ 検 挙 ） 状 況

令和4年1月～令和4年12月 下段()内は前年数値
※人数については令和4年3月現在の暫定値

			補導（検挙）数（人）			構成比（％）			摘 要
			川 口 警察署	武 南 警察署	計	川 口 警察署	武 南 警察署	計	
非 行 少 年	犯 罪 少 年	刑 法 犯	29 (45)	28 (17)	57 (62)	4.8 (5.8)	6.7 (4.5)	5.6 (5.3)	
		特別法犯	8 (11)	14 (2)	22 (13)	1.3 1.4	3.3 (0.5)	2.2 (1.1)	
		計	37 (56)	42 (19)	79 (75)	6.2 (7.2)	10.0 (5.0)	7.8 (6.5)	
	触 法 少 年	刑 法 犯	13 (11)	14 (6)	27 (17)	2.2 (1.4)	3.3 (1.6)	2.7 (1.5)	
		特別法犯	1 (0)	3 (0)	4 (0)	0.2 (0.0)	0.7 (0.0)	0.4 (0.0)	
		計	14 (11)	17 (6)	31 (17)	2.3 (1.4)	4.1 (1.6)	3.0 (1.5)	
	ぐ 犯 少 年		0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	
	小 計		51 (67)	59 (25)	110 (92)	8.5 (8.6)	14.1 (6.5)	10.8 (7.9)	
	不良行為少年		548 (712)	360 (357)	908 (1069)	91.5 (91.4)	85.9 (93.5)	89.2 (92.1)	
	合 計		599 (779)	419 (382)	1018 (1161)	100 (100)	100 (100)	100 (100)	

資料提供：川口警察署・武南警察署

非行少年……犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年

犯罪少年……罪を犯した14歳以上20歳未満の少年

○刑法犯少年……刑法の各本条に定められている行為（交通関係を除く。）をした少年

○特別法犯少年……刑法及び道路交通法以外の法令に違反する行為をした少年

触法少年……14歳未満で刑罰法令に触れる行為をした少年

ぐ犯少年……性格、環境に照らして将来罪を犯し、または、刑罰法令に触れる行為をするおそれのある少年

不良行為少年……非行少年には該当しないが、飲酒、喫煙、その他自己または他人の徳性を害する行為をしている少年

※民法および少年法の改正により令和4年4月から18・19歳は特定少年となります。

罪 種 別 非 行 状 況

1 犯罪少年（刑法に規定する罪を犯した14歳以上20歳未満の少年） 単位：人

令和4年1月～令和4年12月 下段（ ）内は前年数値
※人数については令和4年5月現在の暫定値

	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他	計	摘 要
川口警察署 管内	0 (1)	7 (13)	14 (18)	0 (6)	2 (0)	6 (7)	29 (45)	
武南警察署 管内	2 (1)	3 (7)	20 (5)	0 (2)	0 (0)	3 (2)	28 (17)	
合 計	2 (2)	10 (20)	34 (23)	0 (8)	2 (0)	9 (9)	57 (62)	

2 触法少年（刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の少年） 単位：人

令和4年1月～令和4年12月 下段（ ）内は前年数値
※人数については令和5年3月現在の暫定値

	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他	計	摘 要
川口警察署 管内	1 (1)	0 (0)	6 (3)	0 (0)	1 (0)	5 (7)	13 (11)	
武南警察署 管内	0 (0)	1 (5)	12 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	14 (6)	
合 計	1 (1)	1 (5)	18 (4)	0 (0)	1 (0)	6 (7)	27 (17)	

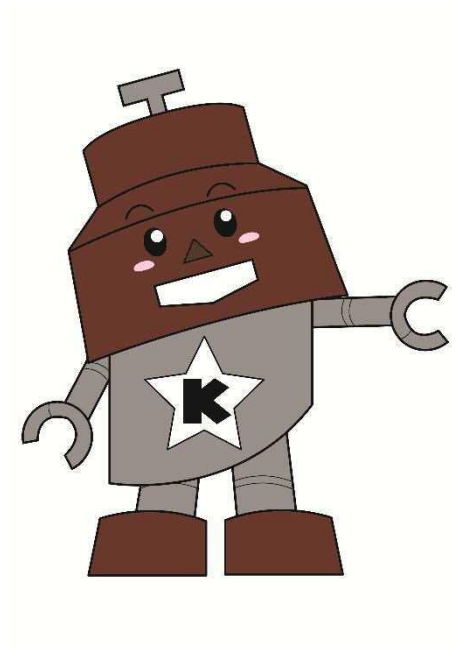
資料提供：川口警察署・武南警察署

不良行為別状況

令和4年1月～令和4年12月 下段()内は前年数値
※人数については令和5年3月現在の暫定値

行為種別	補導(検挙)数(人)			構 成 比 (%)			摘 要
	川 口 警察署	武 南 警察署	計	川 口 警察署	武 南 警察署	計	
飲 酒	12 (20)	4 (7)	16 (27)	2.2 (2.7)	1.1 (2.0)	1.8 (2.5)	
喫 煙	65 (55)	55 (45)	120 (100)	11.9 (7.5)	15.3 (12.6)	13.2 (9.2)	
薬 物 乱 用	0 (1)	0 (4)	0 (5)	0.0 (0.1)	0.0 (1.1)	0.0 (0.5)	
刃物等所持携帯	4 (22)	0 (0)	4 (22)	0.7 (3.0)	0.0 (0.0)	0.4 (2.0)	
粗 暴 行 為	75 (84)	40 (34)	115 (118)	13.7 (11.5)	11.1 (9.5)	12.7 (10.8)	
金品不正要求	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	
深夜はいかい	303 (372)	212 (210)	515 (582)	55.3 (50.8)	58.9 (58.8)	56.7 (53.4)	
家 出	21 (38)	16 (11)	37 (49)	3.8 (5.2)	4.4 (3.1)	4.1 (4.5)	
無 断 外 泊	5 (6)	9 (8)	14 (14)	0.9 (0.8)	2.5 (2.2)	1.5 (1.3)	
不健全性的行為	3 (10)	2 (0)	5 (10)	0.5 (1.4)	0.6 (0.0)	0.6 (0.9)	
性的いたづら	0 (19)	1 (0)	1 (19)	0.0 (2.6)	0.3 (0.0)	0.1 (1.7)	
不 良 交 友	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0.2 (0.0)	0.0 (0.0)	0.1 (0.0)	
怠 学	11 (13)	11 (15)	22 (28)	2.0 (1.8)	3.1 (4.2)	2.4 (2.6)	
不 健 全 娯 楽	37 (81)	3 (18)	40 (99)	6.8 (11.1)	0.8 (5.0)	4.4 (9.1)	
金 品 持 出 し	11 (11)	7 (4)	18 (15)	2.0 (1.5)	1.9 (1.1)	2.0 (1.4)	
暴 走 行 為	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0.0 (0.0)	0.0 (0.3)	0.0 (0.1)	
そ の 他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	
合 計	548 (732)	360 (357)	908 (1089)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	100.0 (100.0)	

資料提供：川口警察署・武南警察署



川口市マスコット「きゅぼらん」

発行 川口市子ども部青少年対策室
川口市青木２－１－１
電話 ０４８－２５８－１１１５